

# SPUR

Vol.68

-2024-



Tohoku university ski team

## SPUR 目次

部長文	・ ・ ・	3
監督文	・ ・ ・	4
インカレ観戦記体験記	・ ・ ・	6
十大戦観戦記体験記	・ ・ ・	8
令和5年度成績表	・ ・ ・	11
部長・監督紹介	・ ・ ・	19
部員紹介	・ ・ ・	20
活動報告	・ ・ ・	27
幹部文	・ ・ ・	28
部員文	・ ・ ・	32
令和5年度会計報告	・ ・ ・	66
令和5年度寄付金報告	・ ・ ・	68
学友会スキー部部則	・ ・ ・	70
スキー部部員名簿	・ ・ ・	74
スキー部OB・OG名簿	・ ・ ・	78
広告協賛一覧	・ ・ ・	92
奥付	・ ・ ・	95

## 部長文

インカレ女子1部昇格とスキー部文化の再構築

部長 青木俊明

(国際文化研究科 教授 平成5年卒)

コロナ渦も去り、令和5年度は日常生活の再構築から始まりました。しかし、コロナ渦では対面での活動が制限されていたため、スキー部の文化も断絶されてしまった感があります。現在の部員はコロナ前を知らず、様々なイベントが“初体験”だったことから、令和5年度はスキー部文化の再構築元年だったと言えます。

これに加えて、昨季は深刻な雪不足に見舞われました。直前まで開催が危ぶまれた全日本学生スキー選手権(インカレ)は、スーパーGがキャンセルされたものの、それ以外の種目はなんとか開催することができました。深刻な雪不足のなか、インカレを開催できたことは、学連関係者および現地の方々の大変な努力があったことは想像に難くありません。深く感謝の意を表したいと思います。

さて、現在のインカレは、男子が3部構成(1部15校、2部25校、3部26校)、女子が2部構成(1部10校、2部20校)となっており、東北大学学友会スキー部は男女ともに2部に所属しております。インカレでは、男子は2部総合8位、女子は2部総合2位という好成績を収めました。これを受け、女子は来季1部に昇

格することになりました。来季の女子1部の国公立大学は東北大学と北海道大学だけになりますので、北海道大学より上位で1部に残留することが期待されます。

萩雪ヒュッテの現状についても、この場を借りて報告させていただきます。これまで管理人を務めてくださっていた安食美江さんは、令和6年3月末をもって東北大学を退職されました。現在、大学を取り巻く経済状況は厳しく、東北大学も川渡セミナーハウスを閉鎖したため、萩雪ヒュッテの今後にも心配されておりましたが、蔵王観光(株)に勤務している小池浩さんにヒュッテの管理業務を委託することになりました。今後、ヒュッテの管理人は常駐ではなくなりますが、これまで通りに使用できますので、一安心しております。

スキー部も歴史を重ね、様々なものが更新される時期になって参りました。その一方で、昭和や平成とは異なり、令和ではルールの厳格な遵守が求められております。そのため、スキー部のかたちも時代に合わせてアップデートしていくことになりますが、将来、現役部員が自分たちの学生時代を振り返ったとき、スキー部での日々を愛おしさとともに思い出せるようなスキー部であり続けて欲しいと思います。OB\OGの皆様におかれましては、引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 監督文

志関弘平

今年度より東北大学学友会スキー部の監督を務めさせていただきました理学研究科博士後期課程一年の志関弘平と申します。現役時代はアルペン部門に所属していました。至らぬ点多いかとは存じますが、新任監督として現役のサポート、また現役とOB・OGの皆様とのつながりを守って行けるよう努めてまいります。皆様におかれましては昨年度もスキー部の活動を様々な面で支えていただき厚く御礼申し上げます。今年度も変わらぬご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

ここからスキー部がさらなる発展をしていくために、現役のみなさんに意識してみてほしいことを、偉そうな物言いにはなっていますが書いていこうと思います。それは部活全体の目標のほかに部員一人一人が自らの目標を設定し主体的にトレーニングに励んで欲しいということです。部が掲げた目標を意識して活動することに関しましては、歴代の監督や諸先輩方の素晴らしいアドバイスがたくさんありますのでそちらを参考にしていただくということで、今回は個人の目標と主体性について書かせていただきます。ここ数年

のわがスキー部は蔵王・鹿角・白馬における合宿のみならず、各部門の幹部を中心に現地でお世話になっている指導者・OB・OGの方々との良好な関係が継続できており、他の国公立大のスキー部と比べ非常に恵まれた環境で競技活動をさせていただいております。しかし現役のみなさんに考えていただきたいのは、“やらされている”という意識で練習に臨んでいないかということです。もちろん部活での練習メニューは各チームが必死で考えた素晴らしいものだと思います。しかし、どんなに素晴らしい環境・メニューでも、個々人の現状や課題に完璧にマッチするものではありませんし、やらされているという意識で練習しては恵まれた環境を生かし切ることができません。各自の課題を克服するには、部活の練習に何となく参加し満足するのではなく、一人一人が設定した目標を意識し主体的に練習に取り組む必要があります。このようなことを書くとな怒られてしまうかもしれませんが、かくいう私も練習(特に夏場の練習)は嫌いです。練習せずに上手くなれる世界があるならこんないい世界はないと思っています。しかし、残念なことにやらなければうまくならないということも今までの競技生活の中で実感してきました。現役のみなさんには、学業等で忙しい中で練習するのですから主体的に取り組む、少しでもレベルアップして冬を迎えてほしいと思います。

COVID19 も5類感染症となった現在、活動制限もなくなり我が部はようやく以前と同じように活動できるようになりました。現役

のみなさんには、過去の伝統の良いところは受け継ぎ、改良できる  
と思ったことは恐れずに変え、新たなより良い伝統を築き上げてほ  
しいと思います。私は現在も競技活動を続けていますので、練習に  
参加し現役部員とコミュニケーションをとり、気軽に何でも相談で  
きる現役部員に近い監督としてスキー部を支えることができればと  
考えております。

最後になりますが、今年度の現役の活躍に期待しつつ、今後とも  
東北大学スキー部の活動にご理解とご協力をいただきますよう何卒  
よろしくお願い申し上げます。

## インカレ観戦記

尾白梓

アルペン2年の尾白梓です。2024年2月14日から2月19日にかけて、秋田県鹿角市で開催された、第97回全日本学生スキー選手権大会の様子についてお伝えします。今年度は深刻な雪不足により、アルペンスーパージGの競技中止や、クロスカントリークラシカルをフリーに変更するなど、異例のインカレとなりました。男子2部8位、女子2部2位となり、女子は今年度から1部に昇格することになりました。ここでは、アルペン競技と最終日のクロスカントリリー競技について書いていこうと思います。

アルペンは一昨年度と同様に最大斜度31度の壁、花輪アルペンコースで行われました。雪不足のため、前日まで斜面は土が多く見えていましたが、大会役員・関係者の皆様のおかげで、当日には競技ができる斜面が作られ、無事日程通り開催することができました。競技当日も2月とは思えない気温の高さにより、雪解け防止のため硫安が多く撒かれ、アイスバーンと雪解けが混ざった難しいバーンとなりました。アルペン初日は女子GSで、冬のスキー場とは思えない雨が降る中競技が行われました。レース前は緊張していた様子の1年生の鈴木選手ですが、16位となり、ポイント獲得に大きく貢献しました。3年生の山田選手は、GSとSL共に1本目終

了時点で30位、リバース圏内に入りました。2本目1番スタートで滑ってきた姿はともかくよく、チーフとして誇りに感じました。一方で、普段とは状況が大きく異なるバーンで、多くの選手が途中コースアウトとなり、選手各々がアイスバーンや急斜面の難しさ、課題を感じさせられた大会となりました。

次は最終日に行われたクロスカントリリー競技についてです。女子はリレー以外の競技が終了した時点で2部3位、リレーが1位なら2部2位となり、1部昇格という状況でした。リレー前日から作戦会議が行われ、リレーへの期待が高まっていました。当日は先に男子がスタート、10分後に女子がスタートしました。前日の作戦会議での予想通り、1走の加藤選手と2走の谷口選手が1位の國學院大學を追う展開となりましたが、タイム差を最小限に抑えてバトンをつなぎ、3走の小澤選手が逆転し、1位でゴールしました。女子1部はクロカンの距離が長くなり、女子スペシャルジャンプはノーマルヒルでの開催となります。1部での更なる活躍に期待が高まります。

今年度のインカレは会場が青森県大鰐町になります。個人、部門ごと、男子、女子それぞれの目標に向かって、練習から大会当日まで頑張りますので、今年度も応援よろしく願っています。

## インカレ体験記

吉田 溪人

東北大学学友会スキー部3年ランナーの吉田溪人です。昨年度の2月15日から19日まで秋田県鹿角市で全日本学生スキー選手権大会が行われました。アルペン・コンバインド・ランナーの3部門から選手が出場し、健闘しました。私はランナーに所属しているため、ランナーを中心にお伝えしようと思います。

今年は雪不足の影響が深刻になり、競技・日程変更を余儀なくされました。クロスカントリ―競技は、クラシカルのレーンを引けないため10キロクラシカルがフリー10キロに変更になりました。またグラウンドの周回コースも使えなくなったため、周回レーンとリレーのタッチゾーンが変更になりました。こうした環境の中、コンディションを整えてくれた関係者の皆さんには感謝しています。

では自分の競技について振り返りたいと思います。まずは最初に行われた10キロフリーですがインターバルスタートで行われ、前から5番目でのスタートでした。先頭付近からのスタートには慣れていなかったのですが、1周目で先頭に出てそのままゴールまで走りきることができました。ペースメーカーがいらないながらもペースを崩さず走りきれたのは自分の中ではかなり自信につながりました。

続いて行われた15キロフリーではマススタートでしたが、ポジションは前の方で割と有利でした。3周しなければならぬ中で、作戦を立てて臨みましたが3周目で足がつってしまい思うような結果にはなりませんでした。1・2周目はポイント圏内でレースを進めることができました。マススタートの特性を活かして相手と掛け合いながら走れましたが、最後の1周で体が限界を迎えたことは練習不足だと感じました。この悔しさを活かして来年はポイント獲得できるように頑張ります。

リレーでは、アンカーを務めました。1走の山西先輩と2走の滝沢が前とくつついた状態で運んできてくれたので、とても楽に滑ることができました。リレーの駆け引きはかなり得意なので負ける気はしませんでした。ライバルにタイムを勝つこともねらっていたので駆け引きはあまり考えず、全力で滑り切りました。結果は2人を抜き4位でゴールしました。自分たちのできることをすべて出し切ったうえで順位なので非常にうれしかったです。個人的なタイムはというと、ライバルに数秒負けてしまったのでそこは悔しかったです。

来シーズンは国立10大学の中で一番速いという自信と技術をもって戦いたいと思います。来年度も東北大学学友会スキー部をよろしく願います。

## 十大戦観戦記

宮崎真瑛

2024年12月28日から2024年1月2日にかけて長野県の野沢温泉スキー場にて第98回国立十大学スキー選手権大会が行われました。今年から北海道大学も加入した中、東北大学は女子総合優勝、男子総合3位、男女総合準優勝と悔しい結果となりました。以降では特にランナーに関する競技について触れていきたいと思います。

### ● 12月29日(金) 女子5kmフリー、男子10kmフリー

女子は1年の谷口選手と2年の加藤選手がワンツーフイニッシュを決め、これ以上ない好成績を収めました。

男子は2年の吉田選手が2位という好成績を収めました。男子総合優勝を収めた北海道大のシード勢6人全員がポイント獲得圏に入るという優秀な結果を収めたため、3年の山西選手がポイント獲得圏まであと43秒などと東北全体としては苦戦が強いられたいと思います。

### ● 1月1日(月) 女子5kmクラシカル、男子10kmクラシカル

朝は曇天でグリップが合わせやすい状況でしたが、出走直前になると雲の切れ目から太陽がのぞくようになり、気温が上昇してきたので、グリップを合わせるのが難しかったと思われます。北海道出身の1年の谷口選手が2位の一橋3年生の選手と22秒の差をつけてフィニッシュしました。2年の加藤選手もスタートで転んでしまいました。3位でフィニッシュし、好成績を収めました。

男子は2年の今井選手が学年で4位の成績を収めたほか、1年の滝沢選手が未経験にもかかわらず新人賞を獲得しました。彼の今後に期待大ですね。

### ● 1月2日(火) 女子リレー、男子リレー

女子は2.5km×3人でクラ、フリー、フリーの組み合わせでした。一走は谷口選手で2位と44秒の大差をつける快走を見せてくれました。続く小澤選手も区間3位の良い走りをしてくれてアンカーの加藤選手も区間一位で帰ってきてくれました。ゴール直前には部旗を持って良い表情で帰ってきてくれました。

男子は2.5km×2周×4人でクラ、クラ、フリー、フリーの組み合わせでした。全体としては3年の山西選手が足を負傷して万全な状態ではない中、他の大学に対して苦戦を強いられました。オープンを含めて20チームのマススタートから始まりましたが、直後の下り坂で一部チームが転倒し、そこに一走の今井選手が巻き込まれてしまうという不運に見舞われるところから始まりました。続く2走の滝沢選手は他の大学に上級生が多い中良い走りを見せてく



れました。3走の山西選手は万全な状態でないにもかかわらず、区間2位の快調な走りをしてくれて、追い上げモードに入った東北大はアンカーの吉田選手も東北大のエースらしい走りを見せてくれましたが、トップと開いていた差は大きく4番手でのフィニッシュとなりました。

他部門でもコンバインドの3年の小澤選手が純飛躍、ノルディック複合でそれぞれ優勝、2年の谷選手が純飛躍でポイント獲得、1年の鈴木選手が新人賞を獲得、競技スキーは未経験だった1年の尾白選手がポイント獲得圏内に入るなど多くの選手が日々の練習の成果を見せてくれました。

## 十大戦体験記

菅野由剛

お疲れ様です。コンバ2年の菅野です。昨年12月28日から1月3日にかけて長野県野沢温泉スキー場で行われた十大戦について、コンバインド部門を中心に書いていこうと思います。

今回の十大戦は、深刻な雪不足により大会直前までジャンプ競技の開催がなしといわれていました。大会開幕直前で雪が少しつもり何とか中止とはならなかったものの、スモールヒル、ルールなしというジャンプ競技としては異例の状況となりました。なにより前日練習ではランディングバーン、ブレイキングバーンともに状況が悪く、それに加えて全選手がルールなしという初めての試みに、競技性以前に安全にジャンプできるかという思いでした。ジャンプ競技当日は前日よりもアプローチ部分のずれが少なく、全選手安定して板をまっすぐにできていた印象があります。自分の目標としてまず一番に幸太郎に勝つ、そして二番目の目標として他大の一年生の中で一番にたつということを掲げていました。今回は合計で飛べる本数が少なく試技一本、複合前半一本、純飛躍二本の計四本しか飛ぶことができず、どれだけ試技でルールなしの感覚をつかみ実力を発揮するかが大事でした。自分は試技で転んでしまい、少し恐怖感を抱きつつ複合前半を迎え、踏切りのタイミングをつかめずあまり距

離は伸びませんでした。しかし、反省を踏まえて純飛躍では思い切りよく飛び順位を伸ばすことができました。

複合後半ではフリー協議の時よりも距離が少ないにもかかわらず、グンターセン方式であることから一人抜かれるとひとつ順位が下がるというのが目に見える影響からか、他人のペースに合わせて試合を運ぶ形となり、上手く体力の分配ができずに一週目で限界を迎えてしまいました。自分よりあとに出たほかの一年生に数人抜かれたことが悔しかったです。

来年はジャンプ自体の完成度はもちろん、実際の試合で重要になる臨機応変さや駆け引きの強さなどを伸ばしていきたいと思っています。

## 令和 5 年度成績表

第 63 回国立十大学スキー選手権大会						
野沢温泉スキー場						
男女総合 2 位 男子 3 位 女子 1 位						
	男子 GS			男子 SL		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	1	山田唯人	29.24	4	山田唯人	33.57
	6	澤田真拓	30.33	7	澤田真拓	34.78
	13	渡部新	31.88	16	塩倉颯瀬	36.34
	19	塩倉颯瀬	32.6	17	渡部新	36.59
	23	猪川椋人	33.99	34	猪川椋人	40.17
	女子 GS			女子 SL		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	3	鈴木さくら	32.54	1	鈴木さくら	37.9
	7	尾白梓	34.27	9	尾白梓	42.72
オープン	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	4	Eliza MacLean	37.37	3	Eliza MacLean	47.28
	男子スペシャルジャンプ			女子スペシャルジャンプ		
正シード	順位	名前	合計得点	順位	名前	合計得点
	3	村上大空	178.4	1	小澤わかば	158.2
	9	谷祥太郎	154.5	DS	品川咲季	
	16	永島史帆	133.8			
	17	高田光太郎	129.9			
	18	菅野由剛	125.5			
	男子ノルディック複合					
正シード	順位	名前	ジャンプ得点	タイム		
	9	村上大空	85.7	19:04.1		
	11	永島史帆	76.3	19:08.2		

	18	谷祥太郎	74.3	23:34.4		
	20	高田光太郎	64.8	25:25.0		
	21	菅野由剛	49.4	25:03.4		
	女子ノルディック複合					
正シード	順位	名前	ジャンプ得点	タイム		
	1	小澤わかば	80.8	11:18.8		
オープン	順位	名前	ジャンプ得点	タイム		
	1	品川咲季		14:53.1		
	男子 FR10km			男子 CL10km		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	2	吉田溪人	30:34.6	15	今井敬裕	40:32.4
	12	山西友貴	32:59.2	18	吉田溪人	40:36.8
	18	今井敬裕	33:24.6	21	滝沢周大	41:21.3
	20	村上大空	33:38.3	26	山西友貴	42:47.6
	26	永島史帆	34:32.4	29	渡邊梓	44:03.1
	39	滝沢周大	38:27.0	31	宮崎真瑛	44:50.8
オープン	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	5	渡邊梓	36:51.0	3	齊藤雅也	46:53.7
	7	安村悠希	38:23.9	6	安村悠希	49:01.2
	11	齊藤雅也	39:44.4	7	飯田健人	49:57.8
	14	宮崎真瑛	41:08.0	11	岡野祐也	1:05:36.1
	16	飯田健人	42:04.9			
	19	谷祥太郎	43:10.4			
	22	齋藤瑛人	45:00.4			
	25	菅野由剛	48:09.8			
	26	高田光太郎	48:15.3			
	29	岡野祐也	1:21:55.6			
	女子 FR5km			女子 CL5km		
正シード	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム

	1	谷口聖実	17:52.4	1	谷口聖実	20:48.5
	2	加藤杏菜	17:58.5	3	加藤杏菜	21:23.7
	6	小澤わかば	19:55.6			
	18	品川咲季	26:58.4			
男子 5km×4 リレー(CL, CL, FR, FR)						
正シード						
順位	走 順	名前	タイム	合計タイム		
4	1	今井敬裕	22:24.7	1:17:09.3		
	2	滝沢周大	21:20.1			
	3	山西友貴	16:57.1			
	4	吉田湊人	16:27.4			
オープン						
順位	走 順	名前	タイム	合計タイム		
4	1	宮崎真瑛	24:12.3	1:32:37.2		
	2	飯田健人	25:35.2			
	3	菅野由剛	23:54.1			
	4	永島史帆	18:55.6			
順位	走 順	名前	タイム	合計タイム		
5	1	安村悠希	24:50.8	1:35:09.1		
	2	齊藤雅也	25:14.5			
	3	高田光太郎	23:50.4			
	4	齋藤瑛人	21:13.4			
順位	走 順	名前	タイム	合計タイム		
8	1	渡邊梓	23:15.9	1:38:06.3		
	2	岡野祐也	33:31.1			
	3	谷祥太郎	22:41.2			
	4	村上大空	18:38.1			
女子 2.5km×3 リレー(CL, FR, FR)						
正シード						

順位	走 順	名前	タイム	合計タイム
1	1	谷口聖実	10:41.8	0:30:43.3
	2	小澤わかば	10:31.6	
	3	加藤杏菜	09:29.9	

秩父宮杯・秩父宮妃杯 第 97 回 全日本学生スキー選手権大会						
アルペン：花輪アルペンコース						
クロスカントリー：花輪スキー場クロスカントリーコース						
ジャンプ：花輪スキー場花輪サンツェ ミディアムヒル						
男子 2 部 8 位 女子 2 部 2 位						
	男子 2 部 GS					
	順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
	27	山田唯人	50.22	46.52	01:36.7	
	DF	澤田真拓				
	DF	塩倉颯瀬				
	DF	猪川椋人				
	男子 2 部 SL					
	順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
	17	山田唯人	43.59	45.02	01:28.6	
	19	澤田真拓	44.28	47.05	01:31.3	
	DF	塩倉颯瀬				
	女子 2 部 GS					
	順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
	16	鈴木さくら	01:01.8	57.45	01:59.2	
	女子 2 部 SL					
	順位	名前	1 本目	2 本目	合計	
	DF	鈴木さくら				
	男子 2 部 FR10km			男子 2 部 FR15km		
	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	17	吉田溪人	29:08.5	21	山西友貴	44:44.5
	23	山西友貴	30:35.8	26	吉田溪人	46:11.1
	31	滝沢周大	32:30.1	28	西村大佑	46:58.4
	36	今井敬裕	33:03.4	29	滝沢周大	47:07.8

	38	西村大佑	33:30.6	34	安村悠希	48:16.5
	女子 2 部 FR5km			女子 2 部 FR10km		
	順位	名前	タイム	順位	名前	タイム
	4	谷口聖実	16:32.7	5	谷口聖実	33:09.3
	6	加藤杏菜	16:47.0	6	加藤杏菜	33:51.0
	男子 2 部 ミディアムヒルススペシャルジャンプ					
	順位	名前	1 本目得点	2 本目得点	合計得点	
	3	村上大空	61.5	57.7	119.2	
	5	谷祥太郎	52.1	43.1	95.2	
	13	高田光太郎	27	24.2	51.2	
	DS	菅野由剛				
	DS	永島史帆				
	女子 2 部 ミディアムヒルススペシャルジャンプ					
	順位	名前	1 本目得点	2 本目得点	合計得点	
	2	小澤わかば	43.1	43.6	86.7	
	6	品川咲季	0	0	0	
	男子 2 部 ノルディックコンバインド 5km					
	順位	名前	ジャンプ得点		タイム	
	10	村上大空	63.2		17:18.0	
	17	谷祥太郎	49		20:33.7	
	19	高田光太郎	19.6		22:31.9	
	女子 2 部 ノルディックコンバインド 5km					
	順位	名前	ジャンプ得点		タイム	
	2	小澤わかば	43.6		19:56.9	
	5	品川咲季	-11.4		25:45.1	
男子 2 部 5km×3 リレー (FR, FR, FR)						
順位	走順	名前	タイム		合計タイム	
4	1	山西友貴	14:44.7		44:44.7	
	2	滝沢周大	15:48.6			
	3	吉田溪人	14:11.4			
女子 2 部 5km×3 リレー (FR, FR, FR)						
順位	走順	名前	タイム		合計タイム	
1	1	加藤杏菜	16:47.7		53:38.3	
	2	谷口聖実	16:35.3			

	3	小澤わかば	20:15.3	
--	---	-------	---------	--

第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会 宮城県予選会		
アルペン：湯の台スキー場(山形県大蔵村)		
クロスカントリー：坊平高原クロスカントリー競技場(山形県上山市)		
男子成年 A(GS)		
順位	名前	タイム
8	澤田真拓	25.76
9	山田唯人	26.19
13	渡部新	27.9
成年男子 A FR10km		
順位	名前	タイム
3	吉田湊人	30:03.3
6	西村大佑	35:08.6
9	齊藤雅也	36:38.9
10	宮崎真瑛	37:05.4
11	安村悠希	38:54.9
12	滝沢周大	39:25.0
13	渡邊梓	39:32.1
14	齋藤瑛人	39:57.4
15	飯田健人	43:02.3
20	岡野祐也	1:21:38.7
DS	今井敬裕	
DS	山西友貴	
成年男子 A CL10km		
順位	名前	タイム
3	吉田湊人	42:18.2
4	滝沢周大	45:32.1
5	宮崎真瑛	47:59.9
7	西村大佑	48:19.8
8	渡邊梓	51:48.3
10	齊藤雅也	58:39.6
DS	安村悠希	
DS	飯田健人	



DS	岡野祐也	
DS	今井敬裕	
DS	山西友貴	
成年女子 A FR5km		
順位	名前	タイム
1	谷口聖実	17:13.7
5	加藤杏菜	18:30.3
成年女子 A CL5km		
順位	名前	タイム
2	谷口聖実	24:06.0
3	加藤杏菜	24:54.3

第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会 茨城県予選会				
アルペン：尾瀬檜枝岐温泉スキー場(福島県)				
男子成年 A(GS)				
順位	名前	1 本目	2 本目	合計タイム
1	志関弘平	25.98	26	51.98

第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会				
アルペン：赤倉温泉スキー場				
クロスカントリー：上山・坊平クロスカントリー競技場				
男子成年 A(GS)				
順位	名前			タイム
82	志関弘平			26.65
成年男子 A FR10km				
順位	名前			タイム
51	吉田溪人			36:34.5
成年男子リレー 10km×4				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
16	3	吉田溪人	29:34.4	2:00:41.4
成年女子 A FR5km				
順位	名前			タイム
33	谷口聖実			19:23.1
39	加藤杏菜			20:36.3

女子リレー 5km×4				
順位	走順	名前	タイム	合計タイム
13	3	谷口聖実	17:00.1	1:12:22.9

## 部長・監督紹介



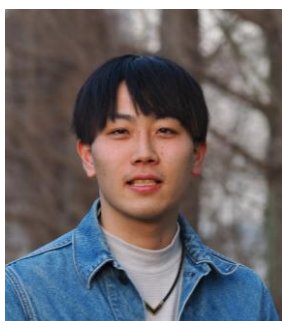
青木部長

昨年度より部長としてスキー部のために尽力していただいております。部員一同より感謝申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。



土屋副部長

昨年度より副部長としてスキー部のために尽力していただいております。部員一同より感謝申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。



志関弘平監督

今年度、監督としてスキー部のために尽力して頂いております。監督として、アルペンの一選手として、練習にも参加していただいております。今後ともよろしくお願いいたします。

## 部員紹介

### 一年生



青野竜也  
コンバ

ベテランの貫禄



関口豊萌  
モーグル

興奮するとソプラノ



岩川雅治  
アルペン

蔵王バイトのプロ



高橋昂希  
ランナー

ランナー唯一の経験者



佐々木晴菜  
アルペン

実は私も ssk



月岡晃太郎  
ランナー

進撃のツッキー



鈴川蓮太郎  
アルペン

遅刻常習犯



辻井響  
アルペン

ヒュッテの料理長  
有力候補



南雲美里  
アルペン

スキー部 C4 のドン



前川舜馬  
ランナー

モテ男



西村修平  
ランナー

いい男になります



益子尚真  
ランナー

テディベア



橋浦雅英  
アルペン

電チャでチャリト  
レ



船井千裕  
コンバ

C4 コンバ最後の砦

二年生



飯田健人  
ランナー

色白腹黒男



齊藤雅也  
ランナー

国内外逃亡多め



猪川椋人  
アルペン

大阪大好き



品川咲季  
コンバ

熱しやすく冷めやすい



岡野祐也  
ランナー

白米にはマヨネーズ



鈴木さくら  
アルペン

NO 新さん NO 単位



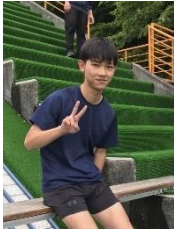
尾白梓  
アルペン

カビと格闘中



高田光太郎  
コンバ

こうたろう(本物)  
になりました



滝沢周大  
ランナー

二郎中毒



谷口聖実  
ランナー

引き継がれしガッ  
ツ



安村悠希  
ランナー

プレモルしか勝た  
ん

三年生



今井敬裕  
ランナー

独裁政権



塩倉颯瀬  
アルペン

次期アルチー候  
補？



加藤杏菜  
ランナー

あんにゃ



谷祥太郎  
コンバ

失われた前歯



齋藤瑛人  
ランナー

胸張りダイアゴナ  
ル



西村大佑  
ランナー

逆三角形マッちょ



澤田真拓  
アルペン

コンセントラブ



宮崎真瑛  
ランナー

エクセル王子





吉田 溪人  
ランナー

腹出てる



渡邊 梓  
ランナー

コンビニ弁当の大  
逆襲

四年生



小澤わかば  
コンバ

全方向美少女



山西友貴  
ランナー

#春から科学大



永島史帆  
コンバ

リハビリ中



村上大空  
コンバ

免停まであと1点



山田唯人  
アルペン

今年は何も壊さない！

## 活動報告

加藤 杏菜

今年度から新型コロナウイルス感染症の規制がほとんど無くなったことにより、以前のように制限なく活動ができております。十四名の新入生を迎え、スキー部の規模もだいぶ大きくなってきている次第です。新入生の中にはモーグル競技の経験者がいて、モーグルの大会で活躍してくれることを期待しています。全体での活動として今年度は新歓スキーや初ジャンに加え、新たに秋保での部門決定を兼ねた全体合宿を行いました。普段の練習とは一味違い、和やかな雰囲気、例年以上に部門間や学年間の繋がりができたように感じています。

昨年度は十大戦で総合優勝を惜しくも逃してしまいました。その反省から今年度は部門練習の強化を図り、シード選手全員のポイント獲得を目標として活動しております。しかし雪不足による練習の制限や、部活の規模が大きくなったことによる道具問題など課題は散見している状況です。その中でも部員がスキーを好きになってくれるよう、生活サイクルの中に部活がうまく組み込めるように考えて活動しております。

オフシーズンの練習について報告いたします。アルペン部門は冬のスピードに耐えられる体づくりとして筋トレやラントレを中心に、

水泳やバイクなどの練習も行っています。また、シミュレータを用いて夏でも実戦をイメージした練習も始めました。コンバインド部門は月に一、二回の合宿でジャンプ台へ行き実際の台で飛んでいます。他大学と合同で行うことがほとんどで、毎回の合宿でお互いに刺激し合っており、とても良い練習ができています。一方で陸上でのシミュレーションやアプローチの確認も大切に取り組んでいます。新たにジャンプ力と瞬発力の強化トレーニングを取り入れました。ランナー部門は前半セメスターで技術の鍛錬を目的に徹底した反復練習や正しいフォームの理解に取り組みしました。夏には絆合宿を通して環境の高い練習を継続的に行いました。清水さんご夫妻には毎年最高の環境を提供していただき、大変感謝しております。これから冬に入るまでさらに強度を上げて体を作り上げていきます。

また、昨年度に引き続き複数の企業が協賛についてくださり、金銭的支援をしていただいています。私たちの活動を応援して下さる皆さんがいて協議ができることを忘れずに活動していきます。各々が目標に向かって引き続き努力してまいりますので、ご支援、応援のほどよろしくお願いいたします。

## 幹部文

主将として

加藤杏菜

今年度主将を務めることになりました、加藤杏菜と申します。入部してから早二年、幹部代として部を引っ張っていく立場になりました。今年は三年生が十名と例年より多く何かと活動がしやすいと考えています。人数を活かして新たなことに挑戦していく一年にしていきたいと思っています。

今年度の目標は、「十大戦総合優勝」「インカレ男子一部昇格・女子一部七位」です。昨年十大戦総合優勝を逃してしまったので必ず奪還するという強い気持ちで練習してまいります。どの目標を達成するためにも入賞という一つの壁があります。我々東北大学は関東圏や関西圏に比べ身近にライバルと言えるような学生が少ないので、チーム全体のレベルを底上げしてその中で競い合っていく、近くにはいなくとも他大を意識してモチベーションに繋げていくといったことを行っていく予定です。

主将になってから部活について考える時間が増えたとともに、二年間部の運営と離れたところで部活をしてきたことを感じました。幹部代だけで完結してしまうことが多くなりがちですが、一、二年生も巻き込み帰属意識が芽生えるような体制を築いていきたいと考

えています。スキー部は三部門に分かれていて、三つの部活がともに活動していると言っても相違ないほど異なる特性を持っています。それでもここまで長い間共に活動してきたことには意味があり、意見がぶつかり合って大変に感じることもありますが各部門がお互いを尊重し理解し合って活動していきます。

私たちはまだ学生であり、部活以外にも勉強、バイト、家事など様々なことをこなしながら日々生活しています。その生活の一部分の部活動ではありますが学生時代の貴重な時間を費やすのですから、他では得られない「何か」を得られる場所になれば幸いです。数ある部活の中からスキー部を選んで活動に励んでいる部員には、スキーを好きになってほしい、部活を通して繋がりを持ってほしい、そしてスキー部を選んで良かったと思ってほしいです。現在のスキー部は部活に勉強にしっかりと励んでいる学生が多いと自負しております。このお互いを刺激し合い高め合っている環境が次の代、またその次の代にしっかりと引き継がれていくように努力していきます。我々スキー部は先生方やたくさんのOB・OGの皆様の支えのもとで活動ができています。卒業後長い年月が経ってもスキー部のことを気にかけてご支援いただきありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。今後もブログやインスタグラムを通して活動を発信して参りますので応援のほど、どうぞよろしくお願い致します。

## アルペンチーフとして

澤田真拓

今年度のアルペンチーフを務めることとなりました澤田真拓です。昨年度は元アルペンチーフの提案もあり十大戦、インカレなどの例年出場していた大会だけでなく学チャンや福島県選手権などポイントが減らすための大会にも出場することができ、非常に有効な一年を過ごすことができました。

今年度のアルペンの目標は「十大戦アルペン内の男女優勝」、「インカレで男子のポイント獲得者を複数出す」の二つです。昨年度の十大戦では北海道大学に総合優勝を取られてしまいました。男子の獲得ポイントが特に少ないと思ったので他校よりはレベルの高いアルペン種目でたくさんポイントを取って総合優勝に貢献できるように努力します。男子は上位五人の内三人は東北大が占められるように、女子は上位三人を独占できるように頑張りたいです。また、今年度の部全体としての目標の一つにインカレ男子一部昇格を掲げているので、例年貢献できていないアルペン男子からポイント獲得者が複数名現れるようにオフシーズンの練習から体力や筋力、技術の基礎を作っていきたいです。

今年はアルペン経験者が多く入部しそうなので、互いに切磋琢磨しレベルの高いチームになればと思っています。また、アルペン未経験の方々も来年再来年と活躍できるようにしっかりと基礎を身につけさせたいと思っています。学年関係なくアドバイスや意見し

合える空気も作っていききたいです。また、インカレでポイントを獲得することはそれなりに難しいことなので、いいスタート順を獲得し有利な状況でスタートするためにも、今年度も昨年度同様ポイントを積極的に減らせるようにポイントレースに出場しようと考えています。

最後に、昨年度のアルペンチーフのような完璧なチーフではまだないですが、一年を通してそんなチーフになれるように努力しますので言いたいことがあったら何でも言ってもらえると勉強になって助かります。至らない点はたくさんあると思いますが、一年間よろしく願います。

## ランナーチーフとして

今井敬裕

今年度よりランナーチーフを務めます、今井敬裕と申します。コロナ禍を潜り抜け、ようやく通常の活動ができるようになったことを喜ばしく感じます。

私はランナーチーフとして「強いランナー」を今年一年でつくりあげたいと考えています。「強い」とは、競技と組織の2面での強さです。

現状のランナーは、部員のスキー技術に関する知識不足が目立ちます。知識不足が原因となり、そもそも理想と現状との違いを考えながら練習を行い、自らの弱点を修正していくという当たり前のプロセスを部員全員が踏めていないように思えます。今までのようにその場限りの、なんとなくキツイ練習を行なっていただけではチームは強くなりません。ですから、今年は経験者や我々3年を中心に、スキー技術や組織運営のノウハウをもう一度再検討し、将来世代にわたって残していけるようなものをもう一度再構築したいと考えています。コロナ以後、同期の人数が複数人いる最初の幹部代として私たちの代に託された役割は、「今年一年強い東北大」をつくることではなく、「今後10年強い東北大」を作ることです。スキー技術の資料配布や、合宿時の臨時コーチの招聘、毎日のビデオ解析などを通じて、10年間にわたって強い東北大スキー部ランナーを目指し頑張りたいと思います。

また、組織としての強化の面では、権限の移譲を大幅に進めていきたいと考えています。今までのチーフの方々は本当に優秀な方々だったので、「どうせ自分が決めるのではなく、チーフが決めてくれるだろう。チーフが教えてくれるだろう」といった、チーフ任せの空気がチーム内に漂っていたように思えます。リーダーが強烈にチームを率いていくというのは聞こえは良いですが、逆に言えばそのリーダーがいなくなればその組織が回らなくなるということです。年功序列の空気を打破し、権限の移譲や、意思決定の分散、適材適所の部員配置を通して、リーダーがいなくても皆が主体的に考え行動できるチームを作り、より組織としても強固な体制を作り上げていきたいです。

最後になりますが、各OB・OGの方々、清水さん御夫妻、協賛企業様、及び保護者の方々、いつも私たちスキー部ランナーを支援していただき本当にありがとうございます。皆様の期待に応えられるよう、日々努力を惜しむことなく邁進してまいります。どうぞ今年度もよろしく願います。

## コンバインドチーフとして

谷祥太朗

今年度、コンバインドチーフを務めさせていただきます、谷祥太朗と申します。ここでは、この一年間コンバインド部門をどのような部門にしていきたいかについて話していこうと思います。

まず一つ目は、上下関係なく意見を言い合える雰囲気作りです。正直、スキージャンプもクロスカントリースキーも個人競技なので、わざわざチームと一緒に練習をする必要はないと言われればそうかもしれません。しかし、同期に負けたくないからより一層練習に打ち込んだり、チームメイトからの何気ない一言で上達のきっかけを掴めたり、個人競技といえど、集団で練習することには多くの利点があると感じます。特にスキージャンプをする際には一緒にスロープカーで移動するときに、さっきのここが良かった、悪かったなどみんなよく話しますが、そんな時に、相手が先輩だからといって、言いたいことが言えないのは非常にもったいないと感じます。そのため、練習以外の普段の生活からフラットにものを言い合える雰囲気を作っていききたいです。

次に二つ目は、モチベーションの維持です。これは特にスキージャンプについて言えることですが、スキージャンプはサマーシーズンでさえ、十分に練習するためには片道三時間強かけてジャンプ台まで行かなくてはなりません。また、スキージャンプは常に怪我のリスクが伴います。そのため、スキージャンプの楽しさがこれらの

負の面に見合っていないと感じると、モチベーションが低下してしまいます。実際自分も、このことで悩んだ経験があります。このようなモチベーション問題を解消するために、今年度からは毎合宿ごとに個人個人が適切な目標を設定するように促しています。そうすることによって、普段の練習からその目標をクリアするために何をすべきかを各々が考えるようになり、練習にも精が出ると思えます。もちろんインカレなどの長期的な目標も大切ですが、このような短期的な目標を達成していけば、自ずと自分の理想へと近づいていくと思います。そうして、全体として大きな向上心を抱いた部門にしていきたいです。

ここまで、今年度のコンバインド部門としての目標について話してきましたが、どんな形であれ、みんなが将来的にスキージャンプをやっていてよかった、コンバインドを選んできた、と考えるような部門にしていきたいです。最後に、スキー部を支えてくださっている方々への感謝を忘れず、日々の練習に取り組んでいく所存でありますので、今年度も応援のほどよろしくお願いいたします。

## 部員文

一年生

### スキーライフ第二弾

南雲美里

初めまして、法学部一年の南雲美里です。音の響きが似ている工学部や農学部と混ざりがちですが、「法」学部ですのでどうか間違えないでください。ここでは私自身と、私のスキー人生について書いていこうと思います。

まずは自己紹介から。私は新潟県南魚沼市という、お米と日本酒がおいしいところから来ました。南魚沼のお米は本当においしいのでぜひ一度食べてみてください。私はまだ日本酒の味は知りませんが、酒呑みの父いわく「辛口ですっきりしている」そうです。自然豊かな（というか自然しかなくて困る）地方部でのんびり育った私が、はたして仙台のような大きな都市に住んで大丈夫なのでしょう。田舎者感全開で仙台市内を徘徊する、そんな大学生活一年目になりそうな予感がしています。

次に私のスキー人生について。スキー場の麓に住んでいること、父がスキーの指導員であることなどがきっかけで、幼少期からスキーをしていました。小学三年生から中学校を卒業するまでは競技ス

キーに打ち込んでいましたが、高校進学を機に引退しました。中学生の頃を思い返してみると、夏場のトレーニングは辛かったな、頑張っても結果が出ず苦しい思いもしたな…と、あまりいい思い出はなかった気がします。その後は基礎スキーを趣味程度で続けながらよく「大学生になってもたまにはスキーがしたいな」と考えていました（ちなみに高校時代はなぜかディベート部に所属して英語でしゃべりしていました）。

ではここで質問。なぜ私は、やめたはずの競技スキーをまた始めようと思ったのか？実をいうと私自身もよくわからないのですが、答えはおそらく「スキーが好きで仕方ない人間だから」なんだと思います。ずっと雪国に住んでいるのに、初雪が降ると毎年飛び跳ねて喜ぶくらいにはスキーが好きです。どんな形であれスキーを楽しみたいと思ってしまうのはスキーヤーの性なのかもしれませんね。基礎スキー部があるならそっちに入りたいという思いは心の奥底にしまっておきます。

レースに復帰するにはまだまだ不安でいっぱいというのが正直なところですが、これも自分で選んだ道です。せっかくなら楽しくチャレンジしたいと思っています。東北大学スキー部という、ともに頑張る仲間がいる環境で練習できるのはとても幸せなことです。第二のスキー人生、全力で楽しもうと思います。これからよろしくお願いします。



## 自己紹介／私の黒歴史を添えて／

鈴木蓮太郎

スキー部に入学しました理学部地球科学系一年の鈴木蓮太郎です。まず自己紹介をしたいと思います。出身は東京都の日野市です。多くの人に自己紹介をする際に東京出身であるというとなぜ「何区に住んでいるの」と聞かれることが八割、その後「いや実は区じゃないんだよね」というと「じゃあわからないや」と言われることが六割、そして「日野市というところなんだよね」というと理解を示してくれる人が0割1分、とまあこんな感じで東京のはずなのに区民からは山梨呼ばわりをされ挙げ句の果てには一橋大学とその他諸々の中高が乱立しているだけのど田舎国立にすら田舎と呼ばれる日野市に住んでいました。私は小学校から桐朋学園に足を踏み入れ、その後中高も同じ桐朋に通い続けていました。十二年間見続けた通学路のあのだっ広い景色は飽きました。高校の卒業文集で今は飽き飽きしているあの景色もいつか良い思い出になるとかほぎました。が今の今まで全く思い出すことなく生活しております。そんなもんだったようです。

中高ではスキー部に所属しておりました。中学一年の冬に小学校六年間同じクラスだった友人に誘われたことがきっかけでした。私自身元々は別の文化部に所属していましたが、何かスポーツくらいやっておきたいという思いのもと友人が入るタイミングに合わせて急遽入部を決めました。私はスキー部の顧問に入部を伝えに行くと

きのことを強く覚えています。これは私がスキー部に入ったという事実を強く思い出に残そうとした結果ではありません。実はこの入部を伝える数週間前、私は「あること」でこの顧問が教室内で怒鳴っていたのを見ていました。顧問はひどく怖そうな見た目をしていてことで有名でした。そのとき私は黙ってその顧問を見ていました。なぜならその「あること」をしたのは私であり、私はその「あること」をしたと名乗り出るのがひどく怖かったからです。結果的に私は難を逃れ顧問は教室を立ち去って行きました。その瞬間はものすごく安堵しました。しかしその数週間後、その顧問に入部するということを伝えなくてはいけなくなりました。さあここからまたあの恐怖が再び訪れます。もしかしたら私のしたことはバレているのではないか。そんな恐怖の中、誰がわざわざ火の中に飛び込むでしょうか。しかしそこにスキー部入部という栗があるのでは仕方がない。私はその顧問の机へと向かいました。私は心臓の飛び出そうな口からどうにか入部したいという旨を伝えました。すると顧問はにこやかに笑い、私の方を見て入部届を受け取ってくれました。多分顧問も「あること」があったことなど忘れ去っていたのでしょう。結果的に何事ありませんでした。

とまあこんな感じで始まったスキー部生活を捨て去ることは勿体無いと思います。これからよろしくお願ひします。

## 自己紹介

益子尚真

はじめまして。こんにちは。このたび、スキー部に入学することになりました、経済学部一年、益子尚真（ますこしようま）です。書くことが思いつかないので、簡単な自己紹介をさせていただきます。

東京都出身です。たまにシティーボーイといわれることがあります。すが住んでいたのは二十三区外なのでそこまで都会ではありません。出身高校は都立新宿です。名前がカッコいいので出身を言うときは必ず高校の名前を出しています。中高と野球をやっていました。ポジションはセカンド、打順は九番です。強いわけではないのですが、それでも真剣に取り組んでいたのもそれなりに忙しい部活でした。そのため新宿や渋谷など近いにも関わらず、想像していたキラキラな高校生活は一切なく、泥まみれの高校生活でした。しかしとても充実していてとても楽しい時間でした。野球はやるだけでなく観戦するのも好きで、今住んでいる家は球場が近いからという理由で選びました。大学在学中にかなえない夢の一つは球場でビールを飲みながら野球観戦をすることです。ここまで書いた通り、私は野球が大好きなので、このまま野球について書き続けたいところなのですが、私しか楽しくないのでこの辺でやめておきます。

続いてスキー部に入学することを決めた理由について書かせていただこうと思います。最初は、東工大のスキー部に所属する高校の

先輩から「スキー部入りなよ」と声をかけていただいて、確かに東北は雪のイメージがあったので、一度新歓に行こうと思いました。初めて行った新歓の食事で、同じ席になった先輩がスキー部の良さについてとても熱く語ってくれて、そこでスキー部に入りたいと思うようになりました。先輩方は皆優しく、練習にはしっかり取り組み、そんな先輩方と一緒に活動したいと思ったのも入学を決めた理由の一つです。またスキーは個人スポーツであり、やるもやらないも個人に委ねられるという競技性、スキー部は部活第一というよりは、勉強や資格取得など、個人のやりたいことを尊重してくれるという雰囲気にもとても魅力を感じました。大学生活で部活だけでなく様々なことに組みみたいと考えている私にとって選択肢を減らすことなくチャレンジできる環境は魅力でしかありませんでした。もちろん、今の段階ではスキー部を最後までやり抜くという気持ちは持っています。そして何より、先輩だけでなく、同期といっても居心地がいいと直感的に感じたのが、決め手でした。

ここまで読んでいただきありがとうございます。最後に、スキーはほとんど初心者ですが活躍できるよう全力で取り組むので今後ともよろしく願います。

## 茨城広報活動

辻井響

一年工学部材料科学総合学科の辻井響です。これから自己紹介を

していききたいと思います。出身は茨城県水戸市です。特に話すことがないので地元の茨城の実態を話していききたいと思います。これを読んでいる方の茨城の印象はどうでしょうか。正直何があるかわからないと思います。茨城は関東には属しているものの、扱いは関東北扱いされ、よく群馬や栃木と一緒に北関東と一括りにされますが、群馬、栃木県民は茨城と一緒にするなと心の中で叫ぶ人も多いと思います。この二県には海がないため、大体茨城の海に行くとこれらの車のナンバーが多く、海でマウンティングを取れます。一方、茨城県には山がないので山、川を求めて栃木や福島に行きます。そうです、ないものねだりです。以前は栃木にコストコがなく、はるばる茨城のコストコまで来ている人が多かったですが、最近栃木にもコストコができたそうでコストコ独占市場の形成は難しくなりました。散々北関東のことについて述べてきましたが争う気はありません、というか争っても勝てる気がしません。都道府県の魅力ランキングで近年ですと佐賀や徳島、栃木がワースト一位となり大騒ぎしていたようですが、茨城に関しては殿堂入りしてもいいのではというほどワースト一位を獲得しており、王者の貫禄があります。

そんなことはさておき、今度はそんな茨城の魅力について触れていききたいと思います。水戸といえば納豆も有名ですが、消費量のランキングはなぜか福島県に次ぐ第二位となっています。中途半端ですね。茨城県の生産量が日本一のものとしてくり、レンコン、サツマイモ、メロン、鯖等があげられます。県内でも地域によるのですが近所の人から食材をもらうことが多く、私の場合メロンとくりは

知り合いからもらうもので買うことはほぼないです。

これまでたくさん茨城県の魅力について述べてきたのでこの文章を読んでいるあなたは茨城に興味が出てきたのではないのでしょうか。茨城は本場に「住めば都」です。何があるのかといえば何もありませんが、関東圏だけあって首都圏へのアクセスは悪くないです。本場にそれだけです。別に謙遜している訳ではないです。観光スポーツも名物の料理もないです。居心地は悪くないですがスキー場がないだけでスキー部の一人としてはとても残念です。もし茨城に来ることがあったらぜひ田舎を堪能してください。

## エゾシカ体質

佐々木晴菜

初めまして。工学部化学・バイオ工学科一年の佐々木晴菜といいます。出身は北海道札幌市で、高校は札幌北高校に通っていました。一番長く住んでいたのは札幌ですが、転勤族でしたので室蘭市と釧路市にも住んでいたことがあります。

さて、ここからは北海道のウィンタースポーツ事情について少しお話ししたいと思います。皆さんご存じの通り(？)、札幌など日本海側の地域は降雪量が多いため小中学校(たまに高校も)冬の体育の授業にスキー授業があります。小学生は先生方が冬休み中に校庭に作った雪山とスキー場でやります。この際に発生する問題が、「低学年スキー履けない問題」です。スキー道具はめったに使いま

せんで、冬休み中には必ず板やブーツの確認をするよう学校から散々言われます。が、履けない生徒が必ず出てきます。そこで登場するのが、授業のお手伝いに来てくれたお母さん方です。しかしその場にいるお母さん方の子供で手のかかる子はめったにいません、お母さん方が自分の子供のお手伝いをする日はほぼないでしょう。かくいう私の母もそうでした。

これはウィンタースポーツがスキーではない地域でも発生する問題です。道東（釧路など）では冬の体育でスケートの授業がありました。基本的に男子はホッケー、女子はフィギュアで、スケート授業はもちろん校庭に張ってあるリンクでやります。朝だと氷点下十五度になっていることもありますので、いかに早く靴のひもを結べるかが重要になってきます。もし手こずっていたら手がかじかんできて余計に結べなくなり、お母さんが呼ばれます。低学年ですとこんな声が聞こえてくることもあるでしょう。「はるなお母さん、〇〇が泣いているー」と。このように母が呼び出されるのをよくリンクの中で聞いていました。当時母は大変だったと言っていました、今となってはいい思い出そうです。

北海道のウィンタースポーツ事情を少しご紹介してみましたが、いかがでしたでしょうか。北海道は広いので、地域によってウィンタースポーツまでも違いが出ていることを知っていただけましたか。最後に、私はこれまで生涯文化部員として生きてきました。これから一年間頑張り、来年入ってくる一年生に文化部出身でも続けられると背中を押すことができるよう、夏も冬も努力したいと思いま

す。私は北海道出身のエゾシカですので、夏の暑さには激弱です。知り合いの中にはお医者様に「エゾシカ（北海道民）に本州の夏は暑すぎる」と言われた者もいます。トレーニングだけでなく暑さにも耐えられるよう頑張りますので、見守り、またご指導いただけます。したら幸いです。これからよろしくお願いいたします。

余はいかに東北大生となりしか

西村修平

こんにちは。経済学部一年の西村修平と申します。札幌東高校出身です。私は一年浪人しているので、二年生の品川咲季さんとは高校の同期にあたります。が、高校の時は面識がなく、不思議なご縁を感じているところです。人生、おもしろいですね。

さて、ここからは私の来歴を紹介します。私は父親が転勤族であるため北海道を転々としてきました。訓子府町で生まれ5歳まで住み、長沼町に移って小二まで住み、旭川市に移って中一まで住み、また長沼町に戻って高校や浪人時代までを過ごした、といった次第です。小学生のころはサッカー少年団に所属し、ゴールキーパーをやりました。人数が多かったこともありレギュラー獲得、とまではいきませんでした。小六の夏のスパーセーブは今でも鮮明に思い出せるほどです。中学校に入り旭川ではサッカー部には入りませんでした。転校を機にサッカー部に入学しました。中学校ではフットワードをやりました。練習試合ではあるものの、北海道の選抜チー

ムに選ばれたキーパーから点を取ったことがとてもうれしく記憶に残っています。高校ではフオークソング部に入部しました。フオークソングとは名ばかりで、私はバンドを組んでエレキギターを担当して活動しました。学校祭のステージでバンド発表のトリを飾ったので、今思うと我ながらキラキラしていたなと思います。

来歴を見てわかるように、私はサッカーが好きです。いまEUROでポルトガルがスロベニアに2-0の末勝利したのを見届けました。次回のワールドカップを現地観戦したいという野望を抱いているのですが、三年生の夏に開催されるため就活にその夢を打ち砕かれそうです。誰か就活の早期化を止めてください。

高校では多くの友人に恵まれました。その中でも特に印象に残っている人がいます。彼は常々「人として成長したい」と言っていました。フロイトの無意識の分析について批評しあったり、倫理観を討論したり、馬鹿話をしたり……どのような会話でも、彼は『善く』あろうとしていることがうかがえました。私は彼の信条に共感し、人として成長したいと考えるようになりました。彼のおかげで受験生活の中で人間とは何か、などを考えることが増え、人間として少しは大きくなれたと思います。スキー部に入部したのでスキー（クロスカントリー）がうまくなりたいということはもちろんですが、人間として大きくなれるようにがんばります。よろしく願います。

最後に、なぜ題名が古文になっているのかについてですが、かつこつけたかったです。理由はこれ以上でもこれ以下でもありません。

せん。

グレンデに戻るからには……

岩川雅治

初めまして。本年度より東北大学学友会スキー部に入部いたしました。岩川雅治と申します。生まれは福島県郡山市、育ちは山形県上山市の生粋の東北人です。高校は、山形市にある東海大学山形高等学校を卒業いたしました。一年の浪人期間を経て本学に入学いたしました。

アルペンスキーは中学までやっていました。中学三年次には全国中学にも出場させていただきましたが、全国のレベルの高さに圧倒されて終わってしまいました。そのあとは、高校受験に失敗したことで、上記の通り、全国最上位層には遠く及ばないと感じたことなどから、競技シーンからは距離を置いておりました。とはいっても、地元 FIS レースなどで前走や役員をしていたので、なんだかんだスキーとの接点は持ち続けていました。「事実上小説より奇なり」とはよく言ったもので、引退してからのほうが上手く滑れたなんてことが多々起きていました。中学時代は伸び悩んでいた時期でもあったので、それが、引退したら現役時代の課題をクリアできていたというのは嬉しくもあり、悲しくもあった出来事でした。

今シーズンから、本格的にアルペンスキーの舞台に戻ることをな

が、その中で自分のできることをしっかりとやり、一年目から良い成績を残せるようにしていきたいと思っています。「一年生だから結果出せなくて仕方ない」ではなく、「一年生だけど、結果を出せず誰よりも悔しい」というところまでなれるように、冬は勿論、夏もトレーニングに励みます。

さて、簡単な自己紹介と抱負は語り終えたので、趣味の話でもしておきます。趣味はF1です。F1というスポーツを知ったのは小学五年生の頃でした。その頃は、HONDAがエンジンサプライヤーとしてF1に復帰し、「音速の貴公子」アイルトン・セナの黄金時代を共に築いたマクラーレンと再タッグを結成という、話題に溢れた時期でした。あの時以来、F1は私にとって、スキーと同じくらい大切なものです。

本音を溢しますと、日本国内でのF1人気が1994年以降低迷しており、ファンとしてはF1を語らう相手がおらず、非常に寂しい思いをしております。ですので、F1に興味のある方はぜひ話しかけてきてくれると嬉しいです。一緒にF1を、モータースポーツを語らいましょう！

兎にも角にも、今年から四年間、スキー部での日々が大学生活一番の思い出だと思えるように精進してまいります。何卒、よろしく願います。

## これまでの人生とスキー遍歴

橋浦雅英

こんにちは。農学部一年の橋浦雅英といいます。僕は2005年に東北大学医学部附属病院（当時）で生まれ、十八年の時を経て東北大に入学しました。生まれも育ちも仙台で、生粋の実家暮らしです。小学校から高校まですべて公立で、中学校では陸上部に所属し走り高跳びを、高校では軽音楽部に所属し、ギターとキーボードを担当していました。大学に入学してスキー部に入部したわけですが、運動部に所属していたころから三年以上たっているため毎日の練習についていくので精いっぱい毎日です。

中学時代は陸上部に所属していたわけですが、苦難の連続だったと思います。不調、ケガ、コロナなどさまざまありましたが、あきらめなかったのが奏功したのか、県のランキングに入ることができました。

高校時代は一転して軽音部に入りました。ピアノを弾いていた経験があったので最初はキーボードをやっていましたが、メンバーに頼まれてギターを始めるとドハマリしてそのあとはほぼギターをやっていました。校内やライブハウスで結構演奏しましたが、緊張しがちでライブのたびに何かしらミスってました。

ここで自分のスキー遍歴を書いていこうと思います。僕がスキーを始めたのはおそらく三歳ごろのことで、親に連れられて行っていました。最初はいいいや行っていました。（笑）しかし小学校高学年になると自分の中でスキー熱が高まってきて小学五年生の時にはSAJスキー検定二級を取得しました。小学生ながらバックカントリースキーをしたり、コブに挑戦したりとかなり激しめなスキーを

していたと記憶しています。その後は一級の取得をなんとなく目指していましたが、中学校に進学すると陸上部の練習で忙しくなり、ケガがあったりしてなかなかスキーに行くことができなくなってきた。スキー熱が一旦冷め、文化部で比較的時間があった高校時代も軽音がマイブームであったこともあり、あまりスキーに行くことはありませんでした。

大学でスキー部に入部したのは、部内の雰囲気良かったのと何か新しいことを始めようと思いついたからです。基礎スキーをずっとやっていた自分にとって競技スキーはじめての経験で、正直かなり不安でいっぱいです。練習がキツイときもありますが、仲間と切磋琢磨して頑張りたいと思います。

## 自己紹介

前川舜馬

はじめまして、この度東北大学学友会スキー部に入部しました、前川舜馬（まえがわしゅんま）です。工学部の機械知能航空工学科です。最近はいまえかわでも返事をしていのですが、一応まえがわです。なぜかは知りません。でも、しゅんま呼びが嬉しいです。滋賀県の膳所高校出身です。難読漢字で、ぜぜと読みます。先輩方に僕のことをぜぜと呼んでくださる方もいて、この呼び方でも嬉しいです。

ここからは、そんな僕の母校について書きたいと思います。滋賀

県大津市にある膳所高校は、僕の好きな元ユーチューバーのはなおさんの母校ということで有名です。膳所の人はみんな賢く、だいたいい京大、阪大を目指します。毎年多くの合格者数を出し、本当にみんなすごいんです。その一方で、上を目指している人の数が多い分、浪人生もけっこういます。浪人した人は、駿台京都校や駿台京都南校にいくため、膳所高校は実は、滋賀県立なのに、駿台付属膳所高校と呼ばれていたりします。そんな中、東北大学を目指すことはけっこう異端です（でも今年は多くて、現浪合わせて五人です）。

なんかみんなとは違う感じがあっていいなあと思って東北にきました。僕は膳所高校が大好きで、膳所でほんとはよかったと思っています。特にみんな優しいところが好きです。なので、みんなとは違う感じがあっていいとか言つときながら、いまちょっと寂しいです。もちろん東北大学のみんなも優しいです。あと、関西弁の人がいると親近感がわいてすごく楽しいです。高校のときは、勉強と部活の日々で、充実していました。それに比べて今は怠惰な生活を送ってしまったって、反省しています。これを機に真面目に生きようと思います。

次に、なぜスキー部に入ったかです。ひとつは、スキーが好きだからです。普通のスキーを小さい頃からやっていました。もう一つはスキー部の雰囲気がすごく好きだからです。先輩方がとても優しく、また、ローラースキーをしているところがカッコよくて、憧れました。最近、自分もこんな先輩になりたいと思ったり、早く上手になりたいと思ったり、この雰囲気を来年の一年生も感じられるといいなあと思ったりしています。

あと、KPOP大好きです。ニュージーンズというグループが特に好きです。ニュージーンズのみんなはかわいくてかっこいいです。曲を聴いていると元気が出て、楽しくなれます。ユニバーシティハウス青葉山に住んでいるのですが、毎日ニュージーンズを聴きながらあの坂道を上っています。最近日本デビューもしたのでぜひ聴いてみてください。

今は足を怪我して全力を出せず、悔しいですが頑張っています。治ったらランナーでいっぱい走ります。これからよろしくお願いします。

## 自由に自己紹介！

### 青野竜也

はじめまして、東北大学法学部一年の青野竜也です。一年生ということで自己紹介を中心に進めたいと思います。まず出身は東京都の足立区という場所です。東北大は全国から学生が集まっているので出身が東京というだけでよくイケてるみたいな印象を持たれますが私の住んでいた場所はいわゆる住宅街で田舎というわけではないけれども都会だなといえるほどの場所ではないので裏切っているように実は複雑な気持ちです。高校は足立学園高校という中高一貫の男子校に通っていました。部活は六年間理化部に所属していてそこいろいろな実験（見せるための実験）をやっていました。よく理化部なのにどうして文系なのと聞かれますがそれはお金を稼ぐなら

文系だなと思っていたのとよく家族から公務員はいいいよーといわれていたので割とためらいもなく文系に進んだ感じです。そして一年の浪人を経、東北大に入学したという形です。

スキー部に入部した理由は主に二つあってウィンタースポーツをしたかったからと何か一つのことを成し遂げたからです。せっかく東京から東北に来たからにはウィンタースポーツをしたいなと入学前からずっと考えていてそれでスキー部を最初から狙っていました。（僕はてっきり基礎スキーをやる団体だと思っていたので競技スキーをやる、クロカンはとでもきつい競技だといわれたときはどうしようかと思ったものでした）

最後に恒例の地元語りをしたいと思います。前述の通り私は足立区に十九年間住み続けました。よく治安が悪いといわれますが少なくとも私は生きてきて不便を感じることはありませんでした。ただ一つだけなかなかあると思うことがあります、それは区画整理です。僕の小学校は区画整理の影響で小四以前と以後で校舎が異なります。かつての僕の学び舎はそれはそれは平成初期を感じさせてくれる、いわゆる学校というような風貌、そして通学路も昭和く平成初期を感じさせるいい雰囲気だったのですがそのすべてを、ことごとくを奪い去った役所にはただただ残念な気がしてなりません。もちろん利便性や安全性を追求すればよくやったと多くの人が言うでしょう。ただかつて僕が友達と何気なく遊んでいた学校や通学路、木が茂った怪しげな家、ガラスが割れた車がなぜかずっと放置されていた駐車場はもうないのだと思うと本当に寂しいです。一方で幼心ながら



永遠などないと、今が大切なのだと気づかせてくれたことはよかったなあと思います。

稚拙な文章を最後までお読みいただきありがとうございました。

最後になりますが今年は先輩についていけるくらい体力をつけて技術も磨いていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いします。

## 自己紹介と入部理由

高橋昂希

こんにちは。工学部機知一年の高橋昂希です。今年から皆さんとスキーをすることになりました。よろしく願います。ここでは自己紹介と入部理由について語りたいと思います。まずは自己紹介からです。出身は千葉県の船橋市というところです。船橋について特に語ることが無くて自分の地元愛の無さに驚きます。何とかひねり出すと、交通の便は良いけど夜になると駅前には酔っ払いと客引きが跋扈するのが最大の特徴の町です。高校は同じく千葉県にある東邦大学付属東邦高等学校という中高一貫校に通っていました。stap細胞の小保方氏の母校として知っている方もいるかもしれません。そこでは中学から五年間スキー部に所属してクロカンをやっていました。クロカンはやりたくて始めた訳ではなく、ゲレンデのスキーを楽しみたくて入った部が実はクロカンをするところだったただけです。ですが良い仲間や先輩に恵まれて五年間やりきることができ、引退するころにはクロカンが好きになっていました。レー

スで全力を出し切れたときの達成感や、レース中は辛いけど後になってまたやりたくなる不思議なところが自分は好きです。また、クロカンは個人種目なので球技と違って相手からの干渉を受けることがなく、自分だけに集中できる点も素晴らしいと思います。

次に入部の理由について説明します。自分には高二の時に引退試合だと決めて気張っていた大会に直前で出られなくなった最悪な思い出があり、クロカンに未練が残っていました。一方で新たな競技を始めたいという気持ちもありましたが、一生未練を背負って生きていくのは嫌だし、この部に入ることがクロカンができる最後の機会だと思ったので入部を決めました。とてもいい決断をしたと思います。

最後に自分の趣味について語ろうと思います。自分には趣味がありません。自分は熱しやすく冷めやすいタイプで今までに長く続いた嗜みはありません。少し飽きっぽいところがあるのかもしれませんが。今までで印象に残っている事は、節約に節約を重ねて貯めた十万で買ったロードバイクに半年で飽きて乗らなくなった事です。凄くもったいない事です。が今後乗らなそうなので実家に置いてきました。(でもいつかは再開したいとも思っています。)なので熱中できる何かを持っている人がうらやましいです。

以上が自己紹介と入部理由です。最後まで読んでいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

## 自己紹介

### 関口豊萌

農学部一年の関口豊萌です。まず、なぜ東北大学への入学を決めたのかの理由について説明します。富山県にいた頃から福島県のスキー場で練習しており、そのスキー場では全国最速で実践的な練習が行えます。さらに、宮城県にはナショナルチームが利用している練習施設も存在し、最高な練習環境が近くにあるからです。スキーを優先したいがために、入試が十一月で終わるAOⅡ期入試を選択するほどスキー馬鹿です。そんなスキー馬鹿がなぜ競技スキーとくにモーグルを始めたかについて説明します。父親は選手でなかったのですが、謎にやらせたいということで幼稚園の同級生のモーグルスポーツ少年団に行っている友達に声をかけ始めることに。小さい頃は何でも経験だとサッカーや器械体操など多くの習いごとをしていましたが、小学校に上がるぐらいからほとんどモーグルを遊びとしてではなく競技としてとらえることになり他の習い事も全てモーグルのためのトレーニングが変わっていき、小学校三年生で正式に競技としてモーグルをすることに。ここからは、モーグル人生を歩むことになりました。初戦は大雪が降っている新潟のスキー場。あの頃は下まで滑るのがやっとだった。怖がりな私は、初めての雪上でのバク宙は頭を打ち脳震盪。さらにできないことが積み重なり、父親が厳しいこともあり、中学二年生でやめたくなったこともあり、父が厳しいこともあり、ずっとできなかったことができるようになり楽し

くなり続けることに。そしてさらなるメンタル面での壁にぶち当たることに。緊張しがちな私は、大事な試合で勝てないことが多く、全日本選手権が決まる試合で失敗し出場資格がとれないことやナショナルチーム（D指定）を決める試合でも守りに入り、予選敗退。おまけに左肩脱臼・左鎖骨の骨折。結局全日本の出場権を初めてとった年も出場できず。ようやく全日本選手権初出場は高校二年生。初出場は予選敗退。二度目の出場となった高校三年生の時も予選敗退に終わった。そんな私でも去年のジュニアオリンピックで四位入賞。ナショナルチーム（D指定）に認定されることが決まった。今年の目標は、世界ジュニア選手権出場と全日本選手権上位入賞である。そのために、学友会スキー部でトレーニングをつみ、パワーアップしていきたいと考えている。さらに、夏休みには一ヶ月間東京の練習施設で合宿をする。フィジカル的にもテクニカル的にもパワーアップが今夏の目標。皆様の声援も糧にして戦って勝ちます。声援よろしくお願いします。

## 自己紹介

### 船井千裕

はじめまして、一番最後にスキー部に入部させていただきました一年の船井千裕です。自己紹介をはじめさせていただきます。富山県府中市府中学園という小中一貫校から福山誠之館高校へ、全部私立じゃなくて公立学校です。そして東北大学工学部材料科学

総合学科に入りました。府中市というと、東京の府中市とか、広島  
の中心街にある府中町だとか、言われますが、人口三万人くらいの  
田舎の広島県府中市であります。

中高で、バレー部に入りチームはとっても弱かったのですが、個  
性豊かなメンバーと楽しく部活をやりました。中学では、サッカ  
ーをちょっとかじりましたが、経験者ばかりの女子サッカークチー  
ムにほぼ初心者仲間三人で入り、励まし合いながらなんとかやり  
切りました。今も、昔も問題なのが体力が本当にないことです。ス  
キー部で、ついていけるように頑張りたいと思います。

最近、困っていることが自己紹介などする時が多くて、その時に  
趣味や好きなこととか、好きな食べ物を言われるとこれっていうも  
のがなくてうーんと悩んでしまうことです。本当に真剣に悩んで決  
めたいなと思います。

一人暮らしを始めて、三ヶ月ほど経ちましたが、いろんなことが  
ありました。ゴールデンウィークには、風邪を引いたり、友達とス  
ーパーに行つてルンルンで帰ったら卵十個全部割れていたりしまし  
た。ほかに、手洗した靴を洗濯機で脱水したら、留学生に  
"PLEASE DO NOT use washing machine to wash SHOES!!!"とホワ  
イトボードに書かれたりして、最近久しぶりにもう時効だろうと思  
つて慎重にそのスニーカーを履いたりしているのですが、毎日なん  
とか生活しています。

これから頑張っていきたいと思います。

二年生

東北大アルペンあるある

鈴木さくら

SPUR読者のみなさんこんにちは、アルペン二年の鈴木さくら  
です。ついこの間SPURを書いたと思ったら、あつという間に一  
年が経ってしまいました。素晴らしい仲間達のおかげで本当に充実  
していて最高の一年を過ごすことができました。

さて、東北のアルペン部門は個性豊かでとても仲良しです。そん  
なアルペン部門に愛をこめて、また去年の部員文で始めた「あるあ  
る」シリーズ第二弾として、「東北大アルペンあるある」を書きた  
いと思います。

一・ 布団大好き

アルペンの先輩たちはみんな布団が大好きです。練習中はアグレ  
ッシブでかっこいい滑りをして、楽しそうにポール練習をしている  
のに、ヒュッテや宿に帰るとみんな一瞬で布団に入つて、寝てい  
るかスマホをいじっています。こんなにずっと布団にいるのは東北の  
アルペンだけなのではないでしょうか・・・？

二・ A d o 流れがち

シーズンを通して、長野や秋田など大移動をすることが多いアル  
ペンのハイエースでは、寝ている人がいてもお構いなしに、大音量  
の音楽が流れています。今シーズンは唯人さんのプレイリストが流

れることが多かったのですが、移動時間が長すぎて唯人さんのプレイリストを何周も聞いていました。唯人さんのプレイリストはAdoメインで構成されているので、車内で何回も聞くうちに覚えてしまいました！来シーズンには誰のプレイリストを周回することになるのでしょうか・・・？

### 三、こだわり強め

アルペン部門ではこだわりの強いメンバーが多く、ヒュッテでの自炊やスキーに関する考え方について、熱い論争が行われます。各々料理方法に対する強めのこだわりがあるので、みんなで料理をしているときはあーだこーだ言っていて、とても賑やかで楽しいです。

また、スキーに関しても同様で、部活のワックスボックスがあるのに、先輩たちは自分のワックスボックスを持参するほどスキーに対して強いこだわりを持っています。ワックスの掛け方や道具の好みにもそれぞれの持論があるので話を聞くととても勉強になります。

以上のように、東北大アルペン部門は個性と思想強めのメンバーが揃っていますが、とても仲良く楽しい日々を過ごしています。新たに一年生が数人加わると思いますが、これからどんなチームになっていくのか、とても楽しみです！今年度も一年間よろしく願います！

### 何もないことの喜び

岡野裕也

大学に入學してから一年ほどが経ちました。この一年で何があったかと聞かれると、特に何もなかったと答えるのが妥当でしょう。

いえ、望むと望まざるとに関わらず、生きていると様々な出来事が押し寄せてくるので、そういう意味では何もなかったというのはおかしいのですが、それでもただ漠然とその期間で何があったか考えても何も思い浮かばないのです。具体的な質問をされればこういうことがあった、ああいうことがあったと回答することもできますが、そうでもなければ思い返すことさえないでしょう。つまり、取り立てて述べるほどの大したことは起きていないということです。それほどまでに無味乾燥な人生を送ってきたのかと思われるかもしれませんが、私は今この状況こそを幸福だと考えています。

例えば骨折などの大きな怪我をした場合、私はこの一年間にあったこととして真っ先にそのことを思い浮かべるでしょう。怪我をした時に痛いのもそうですが、その後も日常生活に支障が出てしまうからです。私は大きな変化が嫌いで、逆に変わり映えのない毎日を送ることを望んでいます。吉良吉影ではありませんが、静かに暮らすことができればそれでいいのです。頭を抱えるようなトラブルや夜も眠れないというような敵を作らず、常に心が平穏であることが大切だと思います。

とはいえ、そこに成長しなくてもいいという怠惰な気持ちはありません。私が今二年生に進級したように環境の変化は必ず起こるもので、止めようと思って止められるものではありません。その中で

私自身が成長しなければ、相対的に日々退化することになってしまいうことになり、これが一年もの長さになると大きな差になってしまいます。そのことを私は高校三年目の冬に実感しました。ゆえに、私は変化し続ける環境の中で相対的に変化しないための努力を惜しみません。昨年が何もない一年であったことは、私の望んだ通りであったということで、静かに過ごすことができたということでもあります。

ここまで、大して意味のない文章にお付き合いいただきありがとうございます。最後に、同期はこの部員文でスキーにおける目標であったり、この新しい一年での決意であったり表明したりを表明しているでしょうからそれに倣い、私も目標を述べます。

今年も何もない一年でありたい。

## スキー部愛

品川咲季

お久しぶりです。コンバインド二年の品川です。つい先月まで新歓期間で、スキー部の良いところを伝えるべく、たくさん的一年生と話しているうちに、自分のスキー部愛の強さに改めて気づかされたので、今年は私の大好きなスキー部の魅力について書いてみようと思います。

まずは、競技自体がとてもしゃがいがあり、楽しいということ

です。正直、一年目は全然思うようにいかなくて悔しいし、しんどいつて感じることも多かったです。ローラー含めクロカンも、ジャンプもまだまだすぎるけど、最近でいうと鹿角のローラーコースを転ばずに回れるようになったり、ジャンプ台で少し動けるようになったりと、少しずつできることが増えていくのを実感することができ、とても嬉しかったです。うまくいかなくて落ち込むこともあります。合宿でも、通常の練習でも、スキー部の活動がある日は一日がとても充実して、なぜだか必ず総じて楽しかったって感じなんです。去年の今頃は、まさか自分がコンバやってるなんて思ってもいなかったですが、コンバに部門決定して良かったです、本当に。

そして何よりもスキー部を通して関わることができた人が、とにかく出会えてよかったって思えるくらい素敵な人ばかりということ。競技の指導をしてくださる方、ジャンプの大会でお世話になっている方、他大のスキー部の方、そして何よりも先輩方、同期が私は大好きです。先輩方は自分のこともあるのに、後輩のことをよく見てくれていて、たくさんアドバイスをくれて、自分の持っている技術を惜しみなく教えてくれます。話していてもとても楽しいし、競技やっている姿はもうろんですが、人としても尊敬で、憧れの先輩です。自分もそんな先輩でありたいなって思います。特にコンバの先輩方はいつも本当にお世話になっていて感謝してもしきれないくらいです。とにかく大好きです！同期は、本当にこの十二人で良かったです。私の心の支えです。同期が最高だからこそスキー部が

より楽しいものになってるのは間違いないですね。女子同期にいたっては自分の家の備品がどこにあるか把握しているくらいたくさん泊りに来てくれて、こんな気が合う、面白くて一緒にいて楽しい最高の友達と出会えて、私は幸せ者だなんてつくづく思います。

スキー部への愛を書いているとどんどん止まらなくなりそうなのでこれくらいにしておきます（笑）。嬉しいことにたくさん的一年生が入部してくれました！さらに気を引き締めて、今年も楽しんで、たくさん成長できるように、そして良き先輩になれるように！頑張っていきたいと思います。

日々

安村悠希

こんにちは。ランナー二年の安村悠希です。もう入学してから一年たっていると思うと感慨深いです。新歓もして先輩としての自覚はないけど、本当に二年生になったんだと感じています。クロカンをに関してはまだまだ技術的に未完成で、というかすべて未完成で、なるべく一年生にかっこいい姿を見せていけるように努力したいと思っています。ほんとにボールの使い方が下手です。でもノンポールはとっても速いと思っています。

ところで、僕は毎日家を出たら何をするでしょうか？家の鍵が締まっているか確認する。（鍵をかけない先輩は多いですね）それはそうなんですけど、まず空を見ます。八幡に住んでいるので、空と

一緒に都会の仙台の街並みが見えます。毎日空を見てみると、空の様子って結構違います。晴れでも晴れ渡っていて空がとても青白い日もあるし、でもほとんどの日はちょっとかすんでいます。僕は晴れ渡った日が誰よりも好きです。空が美しいだけで自分の心のよごれがずっと飛んでいく気がするし、生きてるって感じます。あと、新緑の季節が大好きです。つまり今です。広瀬川の橋から見える木々は黄緑色の新しい葉っぱで、みんな生き生きとしています。最近毎日学校に行く途中に一日分の元気をもらっています。皆さんこんなこと感じたなら僕に話しかけてくださいね、たぶん共感します。僕がこんなことを強く感じてるのは山口で育ったからだと思います。自分の家からはいろんな山が見えて、大平山っていう標高が高くて、裾野がひろい山などがあります。昔から毎日見てたのでこんな感じになったんだと思います。でも、自分は雪とか雪山の美しさがあまりわかりません。新潟とか北海道出身のひとはたぶんいろんな雪を知って、雪に思いでもあるんでしょうが、僕にはそれがわかりません。あと何年スキー部として活動してるかわかりませんが、誰にでも雪の美しさを伝えられるような感性を獲得できたかなと思っています。これはサブ目標です。今年は十大戦とかインカレで結果を出せるように頑張ります。一年間よろしく願います。

わくわくの二年生

菅野由剛

ようやく長い冬を終え、春が迎えに来てくれました。安堵とともに自分がもう大学二年生であることに驚きを隠せません。この一年はあつという間だったとも思うし、自分の人生の中で一、二位を争うほど激動であったことも事実です。自分の人生のモットーとして、嫌なことから逃げる、というのがあります。これはいい面もあり、悪い面もあるのですがスキー部においてはこのモットーは弊害になります。なによりその考えで体育会系の学友会に入ること自体間違いのですが。けがというのは誰しも嫌なものです。スキー部では当たり前だとは言わずともある程度怪我をするリスクがあります。サマーシーズンのジャンプ合宿は本当にいい思い出がありません。最初の合宿で腕を骨折し、たとえ大きなけががなくとも一度転べば翌日はむち打ち状態。首の筋が攣った時は呼吸ができなくて生命の危機を感じました。はじめのころは同期とよく「転ぶためにわざわざジャンプ台に上りに行くこの競技はどMだ。」なんて言っていました。そのため、親にはいまだにジャンプをやることを反対されています。子供にけがはしてほしくないというのはどんな親でも思うことなのでしょうが、それを振り切ってまでもやる価値がこの競技にはあるのだと思います。シーズン中は持病の悪化に悩まされまさにどん底急降下。人生ではじめて食欲0を体感し、むしろ感動しました。これまでに「お前は樂觀的過ぎる。もっと現実を見ろ。」と何回か言われたことがあります。いいえ、違います。正確には「なんでもかんでも楽しめる主義」なのです。どんなにクソみたいなことが起こって自分に困難が降りかかって、「それもまた悪くない

な」と。

### 食欲が止まらない

谷口聖実

こんにちは！ランナー二年の谷口です。最近あった面白かったことは、スキー新歓の帰りに自転車で行っているときに私の腕に突然鳥の糞が落ちたことです。本来はがっかりするところなのでしょうが、咲季と一緒にあったこともありなぜか二人で爆笑していました。あんなにお腹が痛くなるまで笑ったのは久しぶりだったので、なんだか幸せな気分になりました。あまり臭くなかったし。そのあとすぐ服を咲季の家で洗わせてもらいました。咲季ありがとう。

さて、二回目の部員文ということで何を書こうか考えましたが、私の生活はスキー部中心に回っているので、昨シーズンの感想とか、同期やランナー大好きとか、スキー部に関する話題しか思いつきませんでした。それだけスキー部で充実した大学生活を送れているのですが、せっかくなのでこの部活に入って私の中で変わったことの一つを書きたいと思います。それは食欲です。一年前の自分と比べると、食べる量も食に関する興味も間違いなく増えています。それに伴って体重も増えました。なんでこうなったのかというと、一つのきっかけとして思い当たるのは夏絆です。絆では自分たちで料理を作って食べますが、暑い中の練習でみんなお腹がすいているのでご飯は茶碗に大盛り（私比）よそいます。周りの男子たちとは

明らかに消費エネルギーが違うのに、私も食い意地をはって時間がかりながらもほぼ同じ量を食べていました。すると、受験期に運動しないことで縮小していた胃袋が拡大して、たくさん食べないとお腹いっぱいにならなくなってしまいました。それ以降は本格的に始まったバイトで疲れて帰りにコンビニでパンを買って食べたり、冬絆があつてまた同じことになったりして、全然胃袋縮小計画が進まず、現在までできてしまいました。ふとした時になんか食べたいなと思うことが増え、一年生の頃に作っていた量と同じ量を作っても物足りなく感じてしまうため、食費もかかるし太るしであまり良いことがなく少し危機感を持ち始めました。スポーツをやっている者として体重管理ができていないのはよろしくないのです、しっかりとに戻りたいです。これから、生きていくだけで痩せていく夏がくるので、そのタイミングで食べすぎずたくさん体を動かして、シーズンまでに間に合わせたいです。

最後に今年度の意気込みですが、今年のインカレで女子は一部に上がったので来年は少しでも上の順位に食い込めるよう、オフシーズンもトレーニングを積み重ねていき、冬にいい結果を残したいです。そして、今年も仲良く楽しく部活をやりたいです！

## 一年を振り返って

猪川 椋人

こんにちは、アルペン二年の猪川椋人です。今またこうして、催

促されながらSPURを書いていることに一年の経過を感じて、もうスキー部に入って一年も経ってしまったことに驚きを隠せません。高校生や浪人生の時に想像していた大学生活よりも、早く過ぎ去ってしまうものなんだと実感しています。大学生は何でもできると信じていましたが、一年やってみて分かったことは、「なるようにしかならない」ということです。良い意味でも悪い意味でも、大きな変化が起きることはなく、一年が流れていきました。大きな変化を起こすには、それなりの勇氣と根氣と覺悟をもって、混乱の中に飛び込んでいく他ないのですが、残念なことに今の自分には一つも持ち合わせていません。ただ、そんな変化も、「こうなりたい」という理想の姿にしかねらず、それは自分の中では想定内の姿に過ぎないので、それはそれで大きな変化とは呼べない気がしています。

唯一、想定外の大きな変化が起こるのは、怪我や病氣でしょう。スキー部に入って自分の中での一番の変化は、右膝を悪くしてしまったことでした。インカレのGSの二本目で、ふくらはぎと太ももの位置が捻れたまま、足を突っ張ってしまった結果、内側側副靱帯が伸び、脛骨の陥没骨折を起こしてしまいました。今まで培ってきた右膝への信賴が地に落ち、常に右膝に氣をつけつつ生活しなくてはならなくなりました。リハビリを通して信賴を取り戻していこうと思います。ただ、怪我の功名ではないですが、怪我によって、自分の非力さ、人の優しさを感じるようになりました。周囲の人達はもちろん、全くの赤の他人も自分に優しくしてくれることには、本当に助けられました。非力な自分ではありますが、今後の人生を通



じて恩返しが出来ればいいなと思うばかりです。余談ですが、私が怪我で離脱してから、周囲の人たちが幸せになっていききました。私  
が足枷になっていたのであれば、これはある種の怪我の功名でしょう。

つらつらとどうでも良い事を書いてきた訳ですが、今年の目標でも立てて終わろうと思います。今年は、自分の中で理想の姿を持ち、それに少しでも近づく事を目標にしたいです。色々な事にチャレンジし、経験して、なりたい自分、なりたくない自分を少しずつ見つけていき、ちょっとずつ理想の姿を木彫りの様に浮き彫りにさせていければ良いなと思います。ただ、こんな大言壮語を並べる前に、催促されてようやくSPURを書いている自分を何とかするところから頑張ります。

まずは体脂肪を減らすところから

飯田健人

こんにちは、ランナー二年の飯田健人です。私事ですが四月に二十一歳の誕生日を迎えました。同期にはつい最近十九歳、二十歳になったばかりの人もいます。束の間の一個差、同い歳の期間でした。寂しいものです。後輩たちは大半がまだ十八歳です。一学年差なのに年齢だけ見れば三つも離れています。訳がわからないです。年齢差の影響かはわかりませんが後輩たちを見ているとフレッシュさの波動に当てられて胸がウツとなることがあります。同期たちと同じ

様に感じることもあるのならちょっと安心できるのですがどうなのでしょう？

最近、褒め言葉？として若く見えるね、と言われます。そもそも二十一歳は当たり前前に若いだろうが！という気持ちは胸の奥に押し込んでありがとうと返しますが、上手く笑顔を作れている自信はな  
いのです。思い返すと、昨年バイト先の高校生に自分だけすっごいタメ口を使われるなと思っていたら、同い歳だと思われていたなんてこともありました。つい最近にも、新入生と一緒にディスカッションをしたときにめっちゃタメ口で話されて、終わったあとに他のC3と話していたのを見て、先輩だったんですか!?と驚かれたこともあり  
ました。普通に一個上どころじゃないんだが!?って感じですよ。何故なのでしょう？個人的には歳相応の風格を出していきたいな  
と思っ  
ているのですがね。というのも、自分の将来の目標の一つはイケてるおじさん、通称イケおじになることだからです。イケおじの条件としてはシュッと引き締まった肉体や歳相応の魅力を兼ね備えた顔面、スタイリッシュな振る舞いなどが挙げられると思います。条件を挙げてみると、改めてイケおじにはほど遠いなあと感じます。そもそもなぜイケおじになりたいと思うに至ったのかというと、きっかけは予備校生時代に遡るのですが、予備校教師は中年男性の比率が高く、そしてだいたいがだらしないお腹をしていました。きつと受験生から巻き上げたお金で美味しいものを沢山食べていたのでしょう。しかし、そんな予備校教師たちの中にも引き締まった肉体と顔付きをした予備校教師もあり、その人たちは他の人たちと比べ

とてもかつこよく見え、将来はこういう大人になりたいと思われたのです。そんなイケおじへの歩みを進めるべく、目標を一つ立てて文章を締めさせて頂こうと思います。年内に人生で初めて腹筋を割る！

## 越冬成功

尾白梓

こんにちは。アルペン二年の尾白梓です。大学生は「人生の夏休み」だと聞いていたので、もっと暇で遊ぶ時間がたくさんあるものだと思っていました。でもいざ大学に入ってみたら、意外と時間はなくて、なんなら高校生よりも忙しいように感じます。二年生は授業が少なく、暇な時間が増えると思うので、何か新しいことを始めてみたいと思います。

去年の今頃は、自分にとっては練習がハードすぎて、今すぐにも部活を辞めたいと思っていたので、とりあえず一年は頑張るために、部員文に「越冬を目標にする」と書きました。今は、冬がくる前にやめなくてよかったと思っています。夏も冬も一緒に頑張ってくれた同期の存在が大きいです。女子会で騒いだり、他愛のない話で何時間でも話せて、笑えて、スキ一の悩みを共有したり、アドバイスをもらったり、同期のいない大学生活は考えられないくらい大きな存在になりました。今年も、オフトレはとも嫌だけど、同期のみんながいるなら頑張れそうです。

去年の北海道合宿からシーズンアウトまでを振り返りたいと思います。人生初ポールに入った北海道では、最初はポールにビビり散らかしましたが、最後は少しポールの楽しさを感じることができました。初レースの十大戦は、レース感なくレースが終わり、ほとんど旅行のような気分で野沢を満喫しました。二月の菅平合宿は、毎日カップ麺生活でしたが、みんなで集まって、小さなケトルを回して食べる時間が結構好きで、あれはあれで楽しかったです。インカレでは、毎日四時半頃に起床する生活がしんどかったけど、ハイレベルなレースと、急斜面に立ち向かおうと頑張る二人の姿に感動しました。来年はまずスタートに立ちたいです。二月末と三月の蔵王合宿では、最初に比べると自分の滑りが少しずつよくなっているのを感じられて嬉しかったです。私の大好きな同期全員がそろってスキーができたのは菅平合宿が最後だったので、来年はみんな無事故で一緒にシーズンを終わられることを願います。シーズンを振り返ってみて、東北大学でスキー部に入って、アルペンに入って、本当によかったと思いました。同期に限らず、アルペンは面白くていい人ばかりで、冬中とても楽しく過ごせました。引退しても練習に参加してくれる人が多く、練習が賑やかになりそうで、今年も夏冬通して一年間がとても楽しみです。

2024です

齊藤雅也

こんにちは。かれこれ前回のSPUR書いてから一年が経ったと考えると時間の流れはとても早いと感じます。ランナー二年法学部の齊藤雅也です。縦書きの文章を書くというのも、なかなか最近はないもので、このタイプには何か懐かしみを感じます。

さて、一年間私はスキー部として活動してきましたが、また色々と感じるものは多かったです。すごく貴重な体験ができたといえそうですが、それとまっとうしてしましますが、本当にかげのいないものだったと感じています。大学一年生の新歓時期にスキー部に訪問していません。今はオーケストラに入っていたことは確かです。一つ一つの選択が今に繋がっていると思えば、それが最良の選択であつたし、また他を選んでも最良の選択だったでしょう。自分は今年スキー部で活動しつつ、それ以外でもたくさんさんの経験ができましたし、そんな柔軟な活動も認めてもらいました。それがあつての一年です。

一年の十二月月を通してだいたい、二ヶ月弱は海外にいた計算になります。一ヶ月はアメリカのUC Berkeleyで自分の専門の法学分野であるCriminal punishmentについて学んできました。アメリカの刑務所の形態やその歴史、detention policyの差など非常に興味深いものでした。そこで感じたのは部活の形態との共通性です。アメリカの刑務所では、囚人を徹底的にcellの中に閉じ込め、刑務作業や屋外活動などを一切認めないものから、柔軟に健康で文化的な生活を認める刑務所まで歴史的にさまざまでした。これを部活と重ねるのは確かに不思議な点がありますが、部員にどれだけ自由を与えるかというのはおそらくどの部活にも共通する問題です。部活は刑

務所と違って強制団体ではなく任意団体であることは忘れてはいけません。部員はどのくらい自分の自由を享受できるでしょうか。練習を休むことは決して許されない、部活第一で生活しろという考えを持つ人もいるかもしれませんが、うちのスキー部は部員たちの個人の自由を非常に尊重できていると感じます。私のように自分の好きなことをするために留守をすることがあっても、否定されることはありません。それは私の周りの部員や先輩に感謝しなくてはなりません。そんな部活に出会えてよかった、今はそう思います。こんなにも真面目に千字書くつもりはなかったのですが、日頃の部員への感謝と、今の東北大学友会スキー部の雰囲気があれば嬉しいです。ではまた来年寄稿できることを楽しみにしています。

コウタロウ、周大、ハルキタイトル

三年生

去年の振り返り

澤田真拓

気づいたら三年になっていましたアルペンチーフの澤田真拓です。今年度からいろいろと考えることが増えて大変になりました。今のところは実験レポートに追われ授業の復習を全くしていない状態

で、先が思いやられます。昨年度は初めてGPAが3を切ってしまつたので、今年度は余裕を持つて超えられるように努力します。

アニメの話に移りますが、昨年度は葬送のフリーレン、進撃の巨人、推しの子、マッシュル、爆焰、呪術など様々なアニメが放送されました。個人的に楽しみだったアニメは進撃、マッシュル、爆焰などいろいろありますが、一番嬉しかった作品は「薬屋のひとりごと」です！高校の頃から漫画や小説で読んでいつアニメ化されるかワクワクしながら待っていました。ざっくり説明すると宮中で起こる事件を科学の知識(主に毒とか薬とか化学現象とか)を用いて解決する謎解き系のアニメです。興味ある人はぜひマアプラとかで見てください。今年は物語シリーズを公開されている分全部みたいなーと思っっているのですが、例年のようにたくさん暇な時間はないと思うので、もし無理そうだったら鋼の錬金術師を見ようと思います。今年度のアニメで興味ある作品は怪獣8号、このすば、ヒロアカ、変人のサラダボウル、無職転生、ゆるキャン、推しの子、ダンダダンあたりですね。思ったより少なかったですが、時間があつたら見てみようと思います。

本業のスキーマの振り返りもします。今年度は様々の大会に出ている刺激を受けることができ、SLでは一度滑りを変えましたが安定感がなく完走率が非常に悪かったので、戻したりしている内にシーズンが終わってしまい、結果的にはあまり変化のないシーズンとなっていました。GSは今までの滑りを少し修正する感じでシーズンを終えました。ポイントで見ると、SLは去年より大分減って

百四十くらいで来年は百を消えるように頑張る。GSは去年より少しだけ減って百八十くらい。GSはインカレでDFし、学チャンの2レースのみゴールしましたが、チキったのでポイントはあまり良くなかったです。今年はGSの大会にも出たいです。得意なはずのGSのポイントがよろしくないのはどうなのでしょう。今年のインカレはホームみたいな大鰐スキー場なので慣れを生かして活躍したところですか。ただ、大鰐スキー場は雪全然つかないので会場変更になりそうで怖いんです。GSはターンの前半で固まる癖があるのでそこ直す。SLは下踏みするからそこ直す。のが、今年の大きな目標です。

## 日本酒

西村大佑

こんにちは、先日卒部しただーりおさんから原付をもらってQOL爆上がり中のランナー三年のニシムラDです。最近日本酒にハマっています。きっかけ私のバイト先の居酒屋です。日本酒をたくさん取り扱っているため、お客様にお酒の説明をする機会が多く、空き時間中はしょっちゅう日本酒について調べています。日本酒の歴史は縄文時代まで遡ります。最古の日本酒の製造方法はあの映画「君の名は。」で有名になった口嚙み酒と言われています。出典は古事記にあるそうです。そんな昔からお酒が飲まれていること自体が衝撃的ですが、そんな日本酒が今となっても大元はほとんど変わ

らない製法で作られ、多くの人に楽しまれ続けていることになんたか日本酒の偉大さすら感じてしまいます。そんな日本酒ですが、海外では作ることができません。作ろうとしてもおいしいものはきつと作れないでしょう。まず、おいしい日本酒を作る酒母が海外にはありません。では、なぜ日本にはおいしい酒母があるのか、それは昔から長い歳月をかけ代々引き継がれ、保存されているからです。日本酒は古くから庶民に親しまれてきたお酒です。明治時代には酒税が税金の大黒柱となっていました。そこで日本酒を安定的にのいしくし財源を確保するために日本醸造協会という協会が発足し、協会が指定した酵母を守り、酒質を上げる取り組みが行われました。このようにして協会酵母一く六号が定められていきました。中でも、六号は別格でした。あまりにもおいしい。第二次世界大戦中、生き残ったのは六号のみです。国家危急存亡の時期に唯一の培養酵母として生き残りました。一く五号は戦前の時点で頒布中止となりました。したがって、六号はいまの清酒酵母のイブとなっています。どの清酒酵母も六号の変異株だそうです。その六号酵母は秋田の新正酒造で採取され、今もなお全国新酒鑑評会で主席を受賞するなど数々の功績を残しています。このような話を知ってから日本酒と向き合おうと、なんだか畏敬の念すら感じてしまいます。特に新正のNo. 六シリーズは絶品です。ぜひ、ご賞味あれ。

R u n n e r

加藤杏菜

こんにちは。ランナー三年の加藤杏菜です。お題が決まらないの で思ったことをつらつら書いていこうと思います。まず今年の目標はクロカンで聖実に勝つことです。走ったら勝てるのに雪上では見事に全敗中です。何とかしてリザルトで聖実の上に載りたいです。目の前にライバルがいるってことはとってもありがたいですね。これに続くランナー後輩女子が入らなさそうなのはとても悲しいところです。

さてお題が決まらないと言いながらR u n n e rと書いてあるじゃないかと思う人もいるかもしれません。そんなことはどうでもいいのですが、スキー部ランナー部門、そして走ることが好きなのでこの題名がビビツときたのです。去年も走ることについて書いたような気がしますが、やっぱり好きなので今年も書きます。

最近、ランナー部門の練習の陸トレを陸上競技場で行っています。まずトラックで走れるというだけでワクワクします。アスファルトは違うあの柔らかで鋭い反発が返ってくるのを一歩一歩踏みしめられるなんて幸せです。私にとって競技場は特別な場所です。簡単に走れる場所ではありませんでした。だからこそこの興奮があるのかもしれません。一番クロカンに近い陸トレはインターバルだと思えます。設定タイムで走っている時が登り、つなぎが下りというように対応していて、出力が上下しても低い時にどれだけ回復できるかといった練習ができます。自分自身四百メートルの選手だったのでレスト無しで走り続けるインターバルは苦手の種類の練習です。苦

手な練習は一人だとあまりやらなくなってしまうので皆で集まってできるのは私にとってとてもありがたいことです。苦手でもクロカンに最も近く、前の人と勝負する気持ちが精神力も鍛え上げてくれると思います。陸上あがりの誇りをもって陸トレは前を走る気持ちで臨みます。

最後に陸トレの目標もここに記しておきます。タイムトライアルをする機会があるか分かりませんが、三千メートル十二分切りが目標です。高校時代駅伝をやっていた時でも切れなかったタイムなので私にとっては高い目標にはなりますが、これだけの高出力で十分強続けられたらクロカンの登りにも必ず効いてくると思います。体力面が足りなかったという言い訳は絶対にしないように、その自信が持てるように練習します。

陸上についてのことは筆の進みが早く自分でも驚きます。改めて根っから走ることが好きなのだと思います。陸上を超えられるかは分かりませんが、もっともっとクロカンが好きになってたくさん語れるような一年にしていきたいと思います。

### 最近不満に思っていること

吉田溪人

選手として書く部員文はこれが最後かもしれないと思うとなんか感慨深いものですね。お世話になっております、三年ランナーの吉田溪人です。なんだかんだ幹部代になってしまいました。今年は主

務を務めさせていただきます。よろしく願います。

では題名にもある「最近思っていること」の正体を説明していこうと思います。ランナーは鹿角市で合宿や大会をすることが多いです。その時に僕は実家が近いので帰るのですが、他の部員に「なんで泊まらないねん」と突っ込まれます。その理由はただ一つ、「最高な環境だから」です。お金はかからないうえにおいしいごはんもあり、寝慣れたベッドもあるので帰らない理由はありません。帰るなどという人は嫉妬しているのでしょうか。しかしこれにより弊害もあります。スキー部の情報網の最下層になってしまうことです。泊まりの現場で面白い話が繰り広げられるので自分はその場におらずその情報は当然まわってきません。部内恋愛の情報もかなり後になってまわってくるのがほとんどです。早く教えてほしいものです。

続いて学校の話です。自分は医学部保健学科に所属しているのですが、最近周りの友人から不思議な仮説を立てられました。それは実習で自分とペアになった人が留年してしまうというものです。これまで二回実習が行われましたが、その両方でそれぞれのペアになった学生が留年してしまいました。そのせいで周りからは不吉がられています。今年一年は実習の年なのでこれで周りから煙たがられるのはこりごりです。これはいったいなぜなのでしょう。わかる人がいたらぜひ教えてほしいです。

最後は自分が応援している楽天イーグルスの話です。自分は小学生のころから楽天ファンで、今年からファンクラブに入会しました。今年はすでに三回見に行ったのですが、全試合で完封負けしていま

す。僕は疫病神なのでしょうか。二十七イニング無得点はどんなに弱いチームでもなかなかあり得ません。去年までは見に行けばかなりの確立で勝っていたのですが、今年はどうしたのでしょうか。見に行くなどとも言われている気分です。あとこの部活には阪神ファンと日ハムファンが多すぎる気がします。東北大学なのにも関わらず楽天ファンが自分以外いない気がします。自分も楽天ファンだという人がいたら教えてください。一緒に見に行きましょう。

統一感のない文章になってしまいました。不満とはいっても別にそこまで思っているわけではなく、ほぼネタです。そんな私を今年も一年よろしくお願いいたします。

## 振り返り

塩倉颯瀬

こんにちは、アルペン三年の塩倉と申します。アルペン競技をはじめ二シーズンを過ごしました。昨年は滑っている時の落ち着きの無さから暴れん坊将軍と呼ばれたこともありました。このあだ名については結構気に入っています。命名してくださったコーチの上野さんには本当に感謝しています。

私は現在スキー部に所属していますが、私を構成する要素でサッカーは外せないものです。最近個人のプレー集などを見ていて、すごい参考になると思っているのはドリブル中のインサイド、アウトサイドの使い分けです。イニエスタ選手のドリブルは決してスピ

ードが速いわけではないのですが、左右のインサイド、アウトサイドのタッチが細かく正確なので面白いぐらいタイミングや緩急で相手を抜いていきます。今現在サッカー界では戦術などがどんどん出てきていますが、より個人のプレーの分析も細分化し、理論が生まれていくと思うとますますサッカー界楽しみです。

一応これまでのスキー部の反省もしていきたいと思っています。昨年度は二本そろえて滑りきることが少なかったように思います。転んでも、戻って滑りきる執念のようなものが去年は足りずに諦めてしまった大会もあったので、今年度は記録を悪くても残すように頑張っていきたいと思っています。現在の自分は滑り方がしっくり来ていない状態が長く続いていて、探り状態で滑っている感覚があります。少しやりづらさを感じている状態ですが、同じ滑りをするよりはよっぽど良いことで課題があることに感謝して改善できるように取り組みたいと思います。

## 大海原を駆け巡れ！

渡邊梓

おはようございます！こんにちは！こんばんは！ランナー三年渡邊梓です。私は普段、スキー部内では変人でケチな奴と思われるため、今回は自己紹介を兼ねてスキー部の外での活動について幾つか話します。

まず専門の勉強についてです。私は文学部西洋史専修に所属しており北米植民地時代を卒論の研究対象に考えています。最近はずミ

次に就活についてです。二月から就活を始めて、現在順調に進んでいます(五月)。始めたての頃はグループディスカッションで関東の学生にボコボコにされていましたが、現在は負けないレベルまで上げることができました。就活は結局コミュニケーション力と言う人がいますが結局はどれだけ練習してどれだけ準備したかだと実感しています。

次にバイトの塾講師についてです。私は皆さんご存じの通り進学プラザ八幡町ブラック校に務めています。三年目になる今年は中高それぞれの受験生を受け持つことになりました。特に高三の受験生は東北大教育学部を志望しており、彼女のみならず塾講師の私にとっても挑戦の年となります。必ず受験生それぞれの夢を叶えます。最後にサークル活動についてです。私はインクストーンズという石

私は今年度スキー部で広報の役職についています。協賛金・スポンサー獲得に向けて奮闘する所存です。部員ひとりひとりが効果を実感できる状態を目指します。就活の影響で部活動に参加できる時間が限られてきますが、広報として、そしてプレイヤーとして、この一年間を一生誇れるものにできるよう励んでいきます。

56



## 東京での時間の潰し方

宮崎真璞

大学生活は早いもので半分が過ぎ後半に入ってしまった。読んでいる皆さんも東京での微妙なバス等の乗り継ぎ時間で何をして潰すか難儀することがあると思います。そこで今年は、去年の十大戦の行きで同期のけいとと発見した安く充実した時間の過ごし方を紹介したいと思います。

東京に着いたらまず、鶯谷の萩の湯に向かいました。最初はネットカフェでシャワーを浴びるということで二人の中で話していたのですが、東京まで出てそれは洪いということで銭湯に向かうことになりました。二十三区内には銭湯は多数あるのですがネットでの評判も良かった萩の湯を選びました。五百円程度で設備の充実した先頭を堪能できたのでコスパは良いと思います。ただ、公衆浴場なのでかなり混みあってはいました。今度東京で銭湯に立ち寄る機会があった際には他のところへも行つて銭湯巡りもしてみたいものです。銭湯で心と体をリフレッシュした後は日高屋で野沢への道中はまだまだ長いということで腹ごしらえをしました。数ある飲食店の中から日高屋を選んだのは、店を新たに探すのが大変だったというのと、日高屋が関東を中心にチェーン展開していて仙台北に店がないので恋しかったからです。安く空腹を満たすことができるので高校生の時に学校帰りに友達とたまに寄り道していました。お腹を満たした後はゆっくりしたくなったので上野恩賜公園まで散歩してベンチでゆ

っくりしました。人も少なかったので落ち着いた雰囲気です。ゆっくりと語り合うことが出来ました。機会があれば読んでいるあなたの大切な人と立ち寄ってみるのも良いかもしれません笑。

ついに幹部代になり、今まで以上に責任のある行動で後輩を引っばつていかなければならない立場になりました。そのような中、会計を務めさせていただくことになりました。「仕事が遅い」って言われることのないように頑張つていきたいです。私生活の方では去年の冬から飲食のアルバイトを始めたので以前より忙しくなっていました。今年こそは単位を落とすまいとこのないように学業との両立を実現させていきたいと思っています。

## ランナー大好き！

今井敬裕

お恥ずかしいですが私はランナーのみんなが大好きです。ですのランナーのみんなにメッセージを送つて今年のSPURとしたいと思っています。

にしーさん、一年間チーフお疲れ様でした。C2、C3は全員にしーさんに感謝していると思います。人への思いやりに溢れたチーフでした。いつでも待っているのも今年も練習来てください！

けいと、お前は車も運転できてスキーもうまくて性格も基本的には良くて、お前みたいな同期がいてよかった。今年は看護忙しいと思うけどお前がいてくれると練習捗るからなんとか練習来てくれよ

な。

まちや、おれはお前のことをいじり続けているけどいつも笑いながらいじられてくれてありがとう。お前がいるからランナー回ってるよ。これからもよろしくな色々。

あずさ、お前はなんて性格がいいやつなんや。お前という存在に救われた人は多いはず。お前の内に秘めるパッションにおれも魅せられる時があります。共に頑張ろうな！（梓は走ってる顔が一番カッコいい。）

あんな、きよみに負けるなよ！！主将として今年はきよみに勝ってくれ！

□、お前はおもろすぎる。なんでそんなにセンスがあるのかわからない。また飲みに行こうぜ。今年も忙しいけどがんばろな！

しゅうた、お前はすごい。ガッツもあるしバランスも取れててたまにカンガル。今年は副務としてチームまとめていってくれ！頼りにしてるよ！

ヤスマラ、お前熱いな。いいぞ。今年も粉骨砕身頑張って、東北大のエースに成長してくれ！

けんと、お前はなんでそんなにいつも口開いてるん。お前みてると安心するよ、インカレの時は学生委員とか仕事本当にありがとう。今年も一緒に頑張ろう。

きよみのニコニコした笑顔を見るといつも安心する！何も考えてなさそうでスキーのことすぐ考えてて的確で凄い。尊敬します。今年もエースとしてチーム引っ張って！

ゆうや、去年の冬本当に速くなったよな。着実に成長してるよ。

あと、素手で鍋もつのすごすぎる。火傷するから次はちゃんと手袋してね笑

なりー。すごくしっかりもので、将来のこととか色々考えてて自分自身もなり見てて感化されるところがあります。お互い文系として頑張ろうな！

去年新しい後輩が入り、僕は本当に救われた覚えがあります。仲の良かった同期が辞めてしまい絶望する中、今の二年生たちが入ってきました。彼らの直向きな姿と熱心な姿勢に日々の練習で勇気づけられました。彼らには本当に感謝しています。今度は彼らに僕から恩返しができるように、一年間チーフを頑張りたいと思います。また、このようなチームを昨年作ってくださったにっしーさん本当にありがとうございました。

途中から何書きたいのか分からなくなりました

谷祥太朗

ご無沙汰しております、コンバインドチーフ三年谷祥太朗です。時の流れとは非常に早いものでスキー部での活動も残り一年を切っていました。去年までの部員文ではずっと恋愛についてグダグダと語っていて、最後は遂に彼女ができたという報告で終わっていたと思います。結局その子とは長続きしなかったのですが、今回は自分がモテるために日々心掛けてることについて書こうと思います

す。

まず一つ目は、身なりを整えるということです。例えば服装や匂い、軽いメイクなどです。服装については、最近のトレンドのインシルエットや短丈のトップス、パンツを溜めて履くなどから自分に合いそうなものを選ぶようにしています。匂いについては、柔軟剤や香水などです。特に香水は、その日会う人や予定などに合わせて香りを変えて自分のテンションを上げています。最近、一番町にディプティックの店舗がオープンしたので、半月分の給料を握りしめて新しい香水を買いに行こうかと思っています。最後、メイクについて、最近では男性でもメイクをするのが結構主流になってきていると感じ、自分もBBクリームやファンデーションなどを使用するようにしました。

そして次は、良いお店探しです。大学一年の頃は、お店の雰囲気などよりもとりあえず飲んで食べればよいと思っていました。しかし実際、お店選びというのは非常に重要で、せっかく二人で会うことができて、お店があんまりだとマイナスから始まってしまうからです。なので僕も、最近ではインスタやtiktokなどから直感で良いと思った店を片っ端から保存し、その中から料理やお酒のバリエーション、その店の雰囲気などから特に良いと思ったのをGoogle mapでピン留めするようにしています。ここでは自分が実際に行って良かったお店をいくつか紹介しようと思います。一つ目は、三七三です。アーケード付近に二店舗あり、いわゆる大衆酒場といった感じです。お店の照明の明るさ、店員さんも明るく、

とにかく居心地が良いです。特にハムカツと川エビの唐揚げは絶対に食べてみてほしいです！二つ目は、不二子です。仙台駅東口と大町にあり、寿司、天ぷら、おでんが名物のお店です。特に大町の方は、路地裏の隠れ家的で、一見居酒屋なのかと疑うような風貌ですが、いざ入ってみるといつもたくさんの人でにぎわっています。ぜひどちらも一度行ってみてほしいです。

ここまで長々と話してきましたが、これらのことはモテるためだけではなく、自分自身の価値を上げることにもつながると思うので、これからも続けていきたいです。もちろんジャンプもクロカンも頑張っていきます！

四年生

さかな

山西友貴

ランナー四年の山西です。早いものでもう四年生でSPURも四回目です。最近は研究室生活が楽しくてそっちに専念していますが、もうちょっとして院試の準備がひと段落したら部活に行きたいです。昨年のサマーシーズンオフの際には、もう二度と長町なんていい！！と思っていたのですが、なんだかんだ行っている未来も見えます。とりあえずランナーのLINEグループには入っているので

ランナーチームの動向はわかるのですが、ランナーチーフを中心に高い目標を持って活動しているように感じます。今年の成績には期待できるでしょう。

さて、私は魚が大好きです。今年のGW中は”まいにち海鮮チャレンジ”と題して、毎日魚を食べていました。といっても、毎日バイトのまかないです。ただ、最終日は残念ながらまかないが出なかったため、バイト終わりに居酒屋に行って魚を食べました。ゴールデンな休日でした。私が何の魚が好きなのか、気になった方もいらっしゃると思いますので、この場を借りて、私の好きな魚ランキングを発表させていただきます。早速ですが、第一位はサバです。宮城には有名な金華サバというブランドもありますが、別に何サバでもいいです。青魚は人によって好みが分かれやすいですが、私はあの肉厚な食感のサバが大好きです。特にガリと一緒に食べると一層おいしいのでおすすめですよ。炙ってもおいしいですよ。続いて、第二位はブリです。バイトのまかないで食べたとき、感動しました。こんなおいしい魚があるなんて。ブリは大きさによって名前が変わる出世魚でハマチ→メジ→ブリと名前を変えることでも有名です。富山にいったらぜひ食べたいです。第三位はかつおです。かつおのたたきっておいしいですよ。かつおのたたきを食べるときに薬味としてネギやしょうが、みょうがなどと一緒に食べますが、その薬味たちも大好きです。なんなら、その薬味を食べるためにかつおを食べるまであります。ほかにマグロやほっき貝なども好きです。このランキングをつける際非常に悩みましたが、これが山西的おい

しい魚ランキングです。宮城には石巻、塩釜、気仙沼などの全国有数の漁港があるので、新鮮な魚が安く食べられるのでうれしいです。将来はお魚がおいしいところに住みたいなと思います。

## 納豆キャベツ

永島史帆

もう四年になりました。早すぎますね。自分が一年生のときはチーフが大坪さんで、四年生にさばさん、一つ上に明さんがいらっしやいました。一年生のときの思い出といえば何と言っても初ジャンでしょう。人生初めてのジャンプでは、思い切って踏んで大こけして、飛ぶ前の不安からの解放感や自分がしようとしてる競技に対する恐怖感、自分の情けなさなど様々な感情を抱きました。そして私と、私と同じようなメンタルであったであろう同期の小澤と二人で半泣きになっていた中、上級生が当たり前のようにミディアムを飛んでるのを見て圧倒され、ゾーンに入ったみたいにジャンプがスローモーションに見えた感覚を今でも覚えています。学年が上がるにつれて一年がどんどん短く感じるようになり、気が付けばチーフを終えていました。

さて、コンバとしてはサマジヤンの期間のトレーニングが非常に重要となってくるわけですが、昨年度はジャンパーとしての筋力を維持してかつ体重を落とすために、食生活に気を遣った一年だったなと思います。そこで今回は昨年自分が作った料理ランキング一位

の料理を紹介します。「納豆キャベツ」です。作り方は、キャベツ、納豆、麵つゆ、少量の胡麻油をボウルで混ぜるだけです。これがめちゃめちゃおいしくて不足しがちな野菜を効率よく取ることが出来ます。一見誰でも時短でできそうなもので、料理とも言えないかもしれません、実は非常に奥が深いです。その奥深さについて今回は二点お話しします。まずは千切りのテクニクが必須となります。千切りが太かったりまばらだったりするとおいしくありませんし、速さも非常に重要になります。私はこの一年キャベツをいかに速く細く切れるかについて向き合い、画期的な千切りの方法を編み出しました。少し前に流行った千切りキャベツ用のピーラーを使っただけは負けた気分になりそうなので自分は買いません。試行錯誤を重ねるとかく千切りをしまった一年でした。二点目は調味料の分量です。大体四分の一くらいの量のキャベツを一回で使いますが、当然キャベツによって密度や葉の数が違うので、メインの麵つゆの量が毎回変わります。毎回キャベツの重さを測って統計を取るといいのかもしれないませんが、今家の計量器が電池切れなのでその案は無しです。麵つゆが多すぎると下の方のキャベツがひたひたになってしまうし、少なすぎるとただのキャベツを食べることになるのです。まだ分量については研究中なのでお教えすることができませんが、いつか千切りのコツと合わせてお話しします。

もしもここまで読んでくださった方がいらっしやればお気づきかと思いますが、恐らく千切り用ピーラーと計量器の電池を交換すればすぐに解決しますし、何の奥深さもありません。ただ将来の奥さ

んの負担を減らすために、千切りの技術磨き続けようと思います。そして本年度も自分の感覚に頼って納豆キャベツを作り続けます。最後になりましたが、本年度は昨年一緒に切磋琢磨したコンバのみんながもっと上手くなるように、そして今年ジャンプを始める一年生に少しでもジャンプを好きになってもらえるように、微力ながらサポートをさせていただきたいと考えています。よろしく願いいたします。

## 昨シーズンの振り返りと怪我

山田唯人

今日は！アルペン部門の山田唯人です。さすがに四年生ともなると、書くネタもほとんど無くなってきたしまいました。もう四年生と考えると、大学生は特に時がたつのが早いですね、まだ二年生か三年生くらいの気分です。

ネタがないなかで今回は、昨年怪我明けのシーズンだったのでそのことと、昨年はチーフも務めさせてもらったのでその2つのことについて書いていこうと思います。まず怪我のことを少しだけ書いておこうと思います。自分は二年生の二月に左すねの骨折をしてしまい、そこから五月くらいまでは練習もあまりできないような状態でした。本題とは少しずれるのですが、今回の怪我で保険に大分助けられたので、大人になってからも保険にしっかり入ろうと思いますw。自分の場合は病院でのリハビリはなかったので、ひたすら夏

の間筋トレをしていました。足の回復とともにまともに練習に出られるようにもなってきたので、そこからはだんだんと練習メニューの指示だけでなく自分でもメニューを行うようになってきたのですが、それまではたきついメニューを指示して自分はやらない、というひどい人になっていました。後輩の皆さんごめんなさい。

復帰後は夏トレをメニューを組みながら行っていたのですが、自分はそれまでの夏トレで、メニューが組まれていなく、行ったときにチーフの気分でメニューが決まる、という流れがすごく嫌だったので、それを変えようとして毎月メニューを組んでいました。しかし、少しきつすぎたのか、一部のアルペンの人から夏練の間はだいぶ嫌われていたみたいですw。なんとかスキー部を辞めないでついてきてくれて、ほんと良かったです。

長い長い夏トレを乗り切った後に、ようやく冬が来ました。自分は昨年怪我して滑れなかったこともあり、特に今年はモチベーションが高かったです。スキーの方は、手術をしていた先生のおかげもあり、ボルトが入っている状態でも特に問題なく滑ることができました。夏トレを少しやったこともあり、もしかしたら2年生のシーズンよりも良い状態で冬に臨むことができたかもしれないです。また、結果としても今シーズンは悪くなかったと考えています。偶然ですが、目標としていたインカレポイントまであとほんの少しのところ逼迫たということもあり、少し自信をつけることができました。自分は来シーズンもやるつもりなので、来シーズンにはインカレポイントと、SAJポイント百切りを達成したいです。

なんか思いのままを書いたら計らずとも真面目な感じになってしまったのですが、部員文を使って今シーズンと幹部の振り返りみたいなことを書いてみました。昨年は幹部代でいろいろ大変なこともあったのですが、同期の人が助けてくれたりしてなんとか乗り切ることができました。また、アルチーをやりきることができたのは、マジで先輩がみんな良い子でついてきてくれたからだと思ってます！昨年めちゃめちゃ楽しかった！

最後まで真面目な形になってしまったのですが、これから終わっておこうと思います。これからもスキーは続けたいので、よろしくお願いします！

P. s. 毎年SPURの部員紹介で書かれる内容がほぼ変わってなくて、今年は何を書かれるのか不安ですw。この部員文がSPURに載る頃には部員紹介も書かれていると思うのですが、果たして何を書かれているのでしょうか。

より良い睡眠導入剤を求めて

村上大空

こんばんは。先日部屋でゴルフの練習をしようとクッションに向かってボールを打っていたらサード強襲ヒットでテレビを壊してしまいました。四年の村上です。最近は授業がほぼ無いため自由に時間を使えるわけですが、暇人というわけではなく勉強、研究、ゴル

フ、バイト、飲み等々それなりに充実した日々を過ごしております。とはいえ部活のモチベも失っておりません。ぼちぼち練習に顔出す頻度を上げていきたいです。そんな自分には今悩みがあります。それは夜全く寝付けないことです。この問題は特に次の日朝早い時に限って訪れます。二十三時に布団に入って三時まで目が開いてるなんてこともざらでかなり悩んでいるのですが、なんとしても寝るために日々研究を重ねているわけであります。今回は確実に眠りにつくための方法をいくつか紹介しようと思います。

① 音楽を聴く 寝れる度★

心が落ち着く系の曲を流し続ける。自分はジブリ系のピアノを聞いたりした。どれも良い曲過ぎて気持ちに乗ってしまいあまり寝られなかった。

② 冷房ガンガン 寝れる度☆

冷房で部屋の温度を下げ、毛布から出られなくする。冬の朝起きれない現象を逆手に取った方法。全然目覚めるし、寝られたとしても風邪引くのでやらない方が良い。

③ 前日に早起き 寝れる度★★★

早起きしとけば眠くなるのも早いよねって話。大抵昼間に眠気が来て昼寝するので逆効果になることが多い。ただしそれに耐えられれば勝ち。

④ ほろ酔い 寝れる度★★★

寝る二時間前くらいにほろ酔いを一缶飲む。そのときのコンディション

ヨンによらず結構眠くなる。

⑤ ガチ酔い 寝れる度★★★

酒の量と力で強制的に立てなくする。気持ちよく寝られるし意外と朝も起きられる。ただし頭は痛いので午前中は活動出来ない。

⑥ こたつ 寝れる度★★★

ベッドが寝れない場所となってしまうがちだったので冬は半分以上こたつで寝ていた。電気代がかさむので来年はしたくない。

⑦ 日中運動 ★★★

運動して疲労困憊になれば眠くなるよねっていう脳筋理論。午後に十〜二十キロ位走るとよい。かなりの確率で眠りにつくことが出来る。ただし次の日は筋肉痛に耐える必要がある。

以上一部ですが書き出してみました。おすすめできるのは④と⑦くらいでしょうか。他に良い方法をお持ちの方がいたら村上に伝授為していただきたいです。それからテレビ譲ってくれる人がいましたらご連絡下さい。それでは今日は珍しく眠気が来ているので寝ようと思います。おやすみなさい。

好きな合宿所

小澤わかば

こんにちは。コンバの小澤わかばです。

部活に入ってから丸三年が経過し、初めてのことでよりも何度目か

のことが増えてきました。コンバはオフシーズンの合宿が他部門よりも多く、大会も含めると合宿所は今までで15か所は思い出せません。合宿が重なりと起こりがちなのが、小さな不満が膨らんで、それほどに目が行くこと。虫が出るとか、シャワーの水圧が弱いとか、特に自分はハウスタストのアレルギーが酷いので、埃が多い宿は対策が大変です。ここで、お気に入りの合宿所について書いてみたいと思います。魅力を書き出して、感謝の気持ちを思い出そうという魂胆です。

第3位は、長野県飯山市の山の湯です。素泊まりでも、肉まんやお味噌汁が提供される不思議な宿です。温かい雰囲気のおばあちゃんが迎えてくれます。この宿のお気に入りポイントは、どれだけ丁寧に掃除しているの、と言いたくなる綺麗すぎるお風呂です。一般家庭くらいのサイズですが、清掃員さんがいるわけではないのにカビ一つ見当たらないのは、きつとおばあちゃんの腕の凄さが表れているのでしょう。

第2位は、秋田県鹿角市のアルパスです。夏に一番よく利用する宿で、何より練習場所が近い。ジャンプ台もローラースキーコースも目の前で、ここに泊まればお昼もしっかり寝て休憩できるのが最高です。宿泊しているのは違う場所でも、寝ないと一日持たなくて、建物内のベンチで寝がちです。ついこの間の合宿で、お昼ご飯の後ベンチで横になっていたら、他団体の顔見知りの人に、ええ、みたいな顔で数秒間見つめられました。ホームだからと、のびのびしすぎなのかもしれません。アルパス様いつもありがとうございます。

第1位は、北海道士別市朝日町の和が舎です。仙台からはアクセスが悪くて、電車↓飛行機↓電車↓バス↓バスと乗り継ぎます。大雪で長距離バスが運休すると、代わりの電車も遅延：移動に12時間以上かかります。冬に長期で利用することが多いので、体力的にも精神的にも限界を迎えがちな場所ではありますが、いいところだらけです。寝る場所に小さなカーテンがついていて、個人スペースが作れる。朝ごはんのおかずを自分で好きな量増やせる(甘納豆が好き)。お風呂が大きくてきれい。ワックスルームが広い。宿泊費が安い(一泊3食付きで¥600円くらい)、等々。また、他の大学と一緒に利用することが多いので、仲が深まるのもこの場所が多いです。たくさんさんの思い出をありがとうございます。

コンバで過ごすのも、今年で4年目です。初心者です、と言ってきたけど、3年も過ぎると微妙なラインになってきます。いつまで競技を続けるのか決めていませんが、スキージャンプをしたことがあります、ではなくて、していました、と言えるくらいのレベルになりたいです。その段階になるには、もう少しかかりそうです。今のコンバには、大坪さんと、ながつちと、ひろくんと、しょうたろうと、さきと、こうたろうと、ゆうごうがいます。これまで他の大学を含め数え切れないくらいの人と関わって、沢山教えてもらって、たくさん泣いて笑ってきました。あまり会話が多くないし、自分時間を大切にする部門ですが、メリハリのある関わり方だからこそ、居心地の良さを感じます。自分は中高で直属に女の子の後輩がいなかったの、対応が分からなくなりますが、後輩がついてきて



くれるのも、嬉しいです。私が持っているもので良ければ全部提供するので、踏んづけてもっともっと成長してください。

最後に、私が部活で一番好きだなと思う時間は、同期3人で話している時間です。みんな違うものを持っていて、みんな違う性格で、バラバラだけど落ち着きます。

夏には新入生が入ってきて、また新しいコンバになるのが楽しみです。私が大好きな時間が戻ってくるのも楽しみにしています。今年も頑張りましょう。

## 令和 5 年度会計報告

支出		
項目	細目	金額
登録費	学連登録費	¥145,767
	SAJ/FIS 登録費	¥294,100
	県連登録費	¥50,300
エントリー費	十大戦	¥95,330
	インカレ	¥229,417
	サマノル	¥12,385
	国体関連	¥60,090
	アルペンポイントレース	¥64,784
保険料	団体スキー保険	¥155,330
道具代	シミュレータ	¥100,000
	シミュレータ移送交通費	¥13,000
	部室用備品	¥2,759
	無線機、バイス、バンジー等練習道具	¥40,393
	ジャンプ道具購入、修理	¥7,141
	ローラー関連	¥38,240
	アイロン修理	¥8,400
	ツーピース	¥35,999
	ワックス	¥74,703
	消耗品	¥14,146
SPUR 経費	印刷費	¥71,522
	発送費	¥13,750
	お便り	¥28,444
	寄付金お礼はがき	¥2,394
広報	Giving Campaign	¥4,700
スポンサー	レバレジーズステッカー作成	¥2,589
	レバレジーズワッペン作成	¥17,325
幹部業務関連	蔵王挨拶	¥13,200
	HP ドメイン代	¥5,181
新歓費	新歓費	¥195,658

その他	OB 忘年会参加費	¥26,000
	北雄杯	¥3,792
	振込手数料	¥330
合計		¥1,827,169

収入	
項目	金額
部費	¥946,000
新歓費	¥228,000
体育部補助金	¥241,000
大谷賞	¥100,000
課外活動奨励賞	¥50,000
日本生命協賛金	¥200,000
レバレジェズ協賛金	¥40,000
OB 寄付金	¥382,000
SPUR 広告費	¥18,000
その他	¥210,407
合計	¥2,415,407

支出合計	¥1,827,169
収入合計	¥2,415,407
収支合計	¥588,238

## 令和 6 年度寄付金報告

昭和 29 年卒	高橋公正
昭和 37 年卒	栗原義郎
昭和 39 年卒	加藤孝
昭和 39 年卒	工藤博司
昭和 42 年卒	佐藤佑
昭和 42 年卒	高津宣夫
昭和 43 年卒	原田有造
昭和 45 年卒	高橋喜三郎
昭和 45 年卒	川田正美
昭和 48 年卒	長谷川明
昭和 53 年卒	宮崎豊
昭和 53 年卒	上條敦
昭和 59 年卒	山口浩人
昭和 60 年卒	木村浩之
昭和 60 年卒	島本泰輔
昭和 63 年卒	村主正範
平成元年卒	小笠原和徳
平成 2 年卒	風間聡
平成 4 年卒	亀田佑一
平成 5 年卒	青木俊明
平成 5 年卒	吉澤拓也
平成 6 年卒	曳沼賢
平成 7 年卒	竹田史彦
平成 7 年卒	土屋史紀
平成 8 年卒	森工
平成 12 年卒	小林大輔
平成 26 年卒	平野弘幸
平成 26 年卒	儀間愛子
平成 30 年卒	竹重龍一

(敬称略)

令和5年度に御寄付いただいた方のお名前を掲載しております。令和5年度は計382,000円のご支援をいただきました。多額の寄付金をお寄せいただきありがとうございました。頂いた寄付金は、ヒュッテの布団・冷蔵庫の新調、練習道具の購入などに使わせていただきました。

なお、令和6年度分寄付金につきましては、来年度のSPUR第69号に掲載いたします。今後ともご支援よろしくお願いいたします。

お問い合わせ等は下記にお願いいたします。

- ・〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内四一 学生支援課 課外活動係 気付
- ・スキー部ウェブサイト(<http://ski-tohoku.main.jp>)のメールフォーム(下QR)



令和6年 9月

寄付金のお振り込み方法のご案内

平素スキー部の活動に格別のご配慮をいただき、心よりお礼申し上げます。寄付金は銀行口座への振込により寄付をお願いいたします。

OB・OGの皆様の御支援を重ねてお願いいたします。

東北大学学友会スキー部部員一同

銀行口座

ゆうちょ銀行：02200-4-19520

みずほ銀行 仙台支店：723-1077949

口座名義はどちらも「東北大学学友会スキー部」です。

<お問合せ先>

学友会スキー部 会計 宮崎真瑛

電子メール：ski.racing.tohoku@gmail.com

## 学友会スキー部部則

### 東北大学スキー部部則

第一条 本部は東北大学学友会スキー部と称する。

第二条 本部は東北大学学友会運動部の一環として母校の名誉のために活動すると共に、各自技術の向上に努め、部員会員相互の交誼を

温め、その親睦を密にすることをもってその目的とする。

第三条 本部は前条の目的を達成するために次のことを行う。

- 一、 対外試合の参加
- 一、 部報および名簿の作成
- 一、 各種部活動の実施
- 一、 その他

第四条 本部はその本部を東北大学片平丁校内に置き、その他の支部を統合する。

第五条 本部は部員、会員および特別会員をもって構成し、その資格は次の者とする。

一、 部員は東北大学在学中の学生

一、 会員は東北大学卒業生で在学中本部に在籍した者

一、 特別会員は、部長、副部長、顧問、コーチおよび特に部会で認められた者

第六条 本部部員は次の義務を負うものとする。

一、 入部の際、定額の入部費を負うものとする

一、 部費として年間一定額納入すること

一、 定められた部会、トレーニング合宿およびその他の部活動に参加すること。欠席する際にはその事由を届けねばならない。

第七条 本部部員の進退は部会でこれを決定することができる。

第八条 部会は部員をもって構成し、主将が必要と認めた場合これを召集する。

第九条 本部会員、特別会員については別にこれを定める。

第十条 本部会員は次の者をもって構成する。

部長一名、副部長一名、顧問若干名、監督若干名、コ  
ーチ若干名、主将一名、副主将一名、主務一名、副主務若  
干名。

第十一条 主将、副将、主務、副務は、前年度の役員の推薦により選出し、部会の承認を要する。その任期は一年（四月より翌三月）とし、再任を妨げない。

第十二条 本部の経費は学友会費・部費・入部費・会員費・寄付金その他の収入より充当し、会計年度は四月一日より翌年三月三十一日までとする。

第十三条 主務は部員に対し年一回以上の会計報告をせねばならない。

第十四条 本部部則の改正は部総会で総部員の三分の二以上の賛成をもって議決することができる。

第十五条 本部部則は昭和三十五年七月一日をもってその効力を発する。

東北大学萩雪ヒュッテ使用規定

（昭和四十年七月一日制定）

（趣旨）

第一条 東北大学萩雪ヒュッテ（以下「萩雪ヒュッテ」という）の使用については、この規定の定めるところによる。

（使用目的）

第二条 萩雪ヒュッテは、東北大学（以下「本学」という）学生および教職員の体育活動・研修等に使用するものとする。

（使用の願い出）

第三条 萩雪ヒュッテを利用しようとする者は、所定の願書を使用日七日前までに学生部長に提出し、その許可を受けなければならない。

(使用期間)

第四条 萩雪ヒュッテの使用期間は七日以内とする。ただし、特別の理由があると認められたときはこの限りではない。

(使用日時等の変更および使用の取り消し)

第五条 本学において公務上の必要が生じた場合は、使用許可を取り消し、または使用日時等を変更させることがある。

2. 使用の許可を受けた者(以下「使用者」という)に規定違反の行為があると認めた場合は、使用許可を取り消すことがある。

(使用権利譲渡の禁止)

第六条 使用者は使用の権利を第三者に譲渡してはならない。

(損害賠償)

第七条 使用者が故意又は過失により、建物・設備・備品

等を損失又は滅失したときは、それによって生じた損害を賠償しなければならない。

(使用者心得)

第八条 使用者は別に定める使用者の心得を守らなければならない。

(補足)

第九条 この規定に定めるもののほか、萩雪ヒュッテの使用に關し必要な事項は学生部長が定める。

附則

この規定は昭和四十年七月一日から施行する。



東北大学萩雪ヒュッテを学友会スキー部が使用するときの方法について

(昭和四十二年十月二十日)

東北大学萩雪ヒュッテを学友会体育部スキー部が使用するときには、左記の方法によるものとする。

## 記

以上

一、東北大学萩雪ヒュッテ（以下「萩雪ヒュッテ」という）を、学友会スキー部（以下「スキー部」という）が使用するときは「東北大学萩雪ヒュッテ使用規定」（昭和四十年七月一日制定）によるほか、次の方法によるものとする。

二、スキー部は萩雪ヒュッテの一部（二階部分）を通常専有することができるものとする。

三、スキー部が強行訓練の合宿のため萩雪ヒュッテを使用するときは、スキー部以外は使用させないものとする。

四、萩雪ヒュッテのスキー部専用室を使用できる者は、スキー部長、副部長、監督、部員とする。ただし東北大学（以下「本学」

という）関係者が管理上必要な場合は使用できるものとする。

五、萩雪ヒュッテをスキー部以外の者が使用するときには、一階部分を使用するものとする。ただし、一階の各室が一時的に収容能力を超えたときは、スキー部活動に支障ない限りスキー部専用室を使用できるものとする。

六、スキー部は、萩雪ヒュッテの運営について随時本学に協力するものとする。

七、スキー部が強行訓練等により萩雪ヒュッテを使用するときは、学生部に届け出るものとする。

## スキー部部員名簿

4 年生	小澤 わかば (コンバインド)	工学部 建築	群馬県立中央中 等教育学校
	永島 史帆 (コンバインド)	工学部 機械知能航空工	開明
	村上 大空 (コンバインド)	工学部 機械知能航空工	松山東
	山田 唯人 (アルペン)	工学部 機械知能航空工	新潟
	山西 友貴 (ランナー)	工学部 電気情報物理工	大阪府立茨木

3 年生	今井 敬裕 (ランナー)	経済学部	長田
	加藤 杏菜 (ランナー)	工学部 材料科学総合	仙台第一
	斎藤 瑛斗 (コンバインド)	理学部 物理系	市川
	澤田 真拓 (アルペン)	工学部 材料科学総合	弘前
	塩倉 颯瀬 (アルペン)	工学部 材料科学総合	盛岡第一

	谷 祥太郎 (コンバインド)	工学部 電気情報物理工	山手学院
	西村 大佑 (ランナー)	工学部 機械知能航空工	春日
	宮崎 真瑛 (ランナー)	理学部 数学科	昌平
	吉田 湊人 (ランナー)	医学部 保健看護	大館鳳鳴
	渡邊 梓 (ランナー)	文学部	宇都宮

2 年生	飯田 健人 (ランナー)	工学部 材料科学総合	千葉
	猪川 椋人 (アルペン)	経済学部	清風南海
	岡野 祐也 (ランナー)	工学部 電気情報物理工	栄東
	尾白 梓 (アルペン)	農学部	浦和明の星
	菅野 由剛 (コンバインド)	農学部	桐朋
	斉藤 雅也 (ランナー)	経済学部	成蹊

	品川 咲季 (コンバインド)	理学部 生物学科	札幌東
	鈴木 さくら (アルペン)	工学部 電気情報物理工	伊那北
	高田 光太郎 (コンバインド)	経済学部	前橋
	滝沢 周大 (ランナー)	理学部 物理系	新潟
	谷口 聖実 (ランナー)	工学部 機械知能航空工	旭川東
	安村 悠希 (ランナー)	理学部 物理系	山口

1 年生	青野 竜也 (コンバインド)	法学部	足立学園
	岩川 雅治 (アルペン)	理学部 物理系	東海大学山形
	佐々木 晴菜 (アルペン)	工学部 化学・バイオ工	札幌北
	鈴川 蓮太郎 (アルペン)	理学部 地球科学系	桐朋
	関口 豊萌 (モーグル)	農学部	富山中部

	高橋 昂希 (ランナー)	工学部 機械知能工	東邦大学附属東邦
	月岡 晃太郎 (ランナー)	理学部 生物系	長野
	辻井 響 (アルペン)	工学部 材料科学総合	水戸第一
	南雲 美里 (アルペン)	法学部	新潟県立国際情報
	西村 修平 (ランナー)	経済学部	札幌東
	橋浦 雅英 (アルペン)	農学部	仙台第三
	船井 千裕 (コンバインド)	工学部 材料科学総合	福山之館
	前川 舜馬 (ランナー)	工学部 機械知能工	膳所
	益子 尚真 (ランナー)	経済学部	新宿

## 東北大学学友会スキー部 OB・OG 名簿

第 62 号まで掲載しておりました住所（番地まで記載）・電話番号・メールアドレス・勤務先の情報は個人情報保護に関するご意見を頂戴しており、本号では掲載していません。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ください。個人情報は青木部長(H5 卒)が管理していますので、必要な場合にはお問い合わせください(E メール：toshiaki.aoki.a1@tohoku.ac.jp)。個人情報の変更や修正についても青木部長までご連絡ください。

	氏名（在籍学部）	現住地
会長	工藤 博司（理学部化学科）	
S29 年卒	伊藤（永野）孝夫（教育学部） 高橋 公正（教育学部）	宮城
S30 年卒	鬼川 徹（医学部） 佐々木 一巳（工学部）	宮城
S31 年卒	千葉 忠男（工学部応用化学科）	
S32 年卒	井藤 栄二（農学部農芸化学科） 井畑 秋男（法学部） 加藤 洋（工学部精密工学科） 佐久間 泰彦（経済学部） 塩見 誠之輔（経済学部）	
S33 年卒	香坂 昌敬（工学部） 笛木 劭（法学部）	
S34 年卒	青山 孝朗（経済学部） 荒木 勉（工学部通信工学科） 伊藤 智康（法学部） 木名瀬 武男（工学部精密工学科） 鈴木 浩一（工学部機械工学科） 本沢 忠夫（理学部） 結城 諒（理学部）	大阪 埼玉 神奈川 神奈川
S35 年卒	小沢 紀男（工学部電気工学科） 小野寺 満憲（工学部機械工学科） 平間 重義（工学部建築学科）	神奈川

	氏名（在籍学部）	現住地
S36 年卒	石田 孝（経済学部） 内田 絢子（理学部生物学科） 柴田 徹（薬学部） 森 啓（理学部地質学科）	神奈川   宮城
S37 年卒	金ヶ崎 史朗（理学部生物学科） 栗原 義郎（理学部化学科） 山田 正俊（工学部精密工学科）	東京 東京
S38 年卒	青山 浩志（農学部食品化学科） 市川 民雄（教育学部） 菊池 尚子（医学部薬学科） 中村 彰太郎（工学部機械工学科） 簗野 紘一（農学部農芸学科） 日下 俊直（農学部農学科）	千葉   栃木
S39 年卒	阿部 欣悦（理学部数学科） 伊藤 憲克（工学部） 加藤 孝（農学部） 川畑 カズコ（教育学部） 菅野 興文（農学部畜産学科） 工藤 博司（理学部化学科） 富田 光彦（法学部） 三十尾 延江（医学部薬学科） 山品 寛一（工学部建築学科） 吉田 睦男（教育学部保健体育科） 渡辺 洋（農学部水産学科）	神奈川 宮城   宮城 千葉  宮城 神奈川
S40 年卒	今枝 友明（経済学部） 大井 柁雄（工学部電子工学科） 鬼木（栗原）美枝子（文学部美学科） 清水 紘治（工学部機械工学科） 清水（畑中）典子（文学部心理学科） 鈴木 正明（法学部） 藤巻 公裕（教育学部学校体育科）	東京  大阪 神奈川  千葉
S41 年卒	大熊 清二（工学部機械工学科） 平野 耕一郎（工学部 機械工学第二学科）	東京
S42 年卒	岡田 博文（農学部）	大阪

	氏名（在籍学部）	現住地
	河合 久嗣（工学部電気工学科） 佐藤 佑（教育学部） 高津 宣夫（工学部精密工学科） 南部 諄一（工学部精密工学第二学科） 武樋 政司（法学部）	宮城 長野
S43 年卒	高田 潤一（教育学部体育科） 田中 勝（工学部電子工学科） 照井 頌二（医学部） 中澤 徳郎（工学部電子工学科） 新野 紘三（工学部機械工学） 原田 有造（工学部建築科） 松久 勝利	宮城 千葉 宮城
S44 年卒	片石 隆雄（工学部金属材料工学科） 田中 和雄（工学部金属材料工学科） 壺 富士雄（経済学部）	東京
S45 年卒	植杉 健一（歯学部） 蕪木 俊行（文学部社会学科） 神谷 靖彦（工学部電気系） 川田 正美（工学部金属工学科） 櫻井 新一（理学部地学系） 高木 顕（理学部） 高橋 喜三雄（経済学部） 二瓶 正（工学部金属材料工学科） 半田 浩一（理学部化学系） 矢口 弘志（工学部 機械工学第二学科） 吉澤 静一（工学部応用物理学科） 横山 雄二（経済学部） 渡部 安雄（工学部機械工学第二学科）	北海道 山形
S46 年卒	小島 照夫（工学部機械工学第二学科） 幸前 徹（工学部金属学科） 西沢 理（医学部）	
S47 年卒	阿部 孝春（理学部化学科） 奥井 栄一（医学部薬学科） 佐野 満広（農学部）	



	氏名（在籍学部）	現住地
	神 常雄（教育学部） 仲居 良文（法学部） 宮城 啓一（工学部機械工学科）	
S48 年卒	長谷川 明（工学部土木科） 平瀬 了（理学部数学科）	青森
S49 年卒	水村 哲夫（工学部金属系） 三田 常義（理学部物理学科）	宮城
S50 年卒	小牧 博一（工学部機械系） 鈴木 徹（工学部金属系） 長谷川 隆（工学部金属系） 藤井 隆宏（工学部電気系）	神奈川  東京
S51 年卒	塚越 隆二（農学部） 望月 達也（工学部土木科） 渡辺（遠藤）由美子（理学部化学系）	千葉
S52 年卒	秋田 仁（工学部機械工学科） 宇賀神 義宣 鹿野 敏彦（工学部建築学科） 鹿野 陽子（理学部地学科） 神長 耕二（工学部土木科） 生内 雄一（工学部金属工学科） 半沢（大江田）幸子（理学部） 三田（橋本）さえ子（文学部心理学科）	東京  宮城
S53 年卒	五十嵐 豊明（工学部電気工学科） 上條 敦（理学部物理学科） 高田 稔（工学部金属工学科） 堀松 政司（経済学部） 宮崎 豊（医学部）	埼玉
S54 年卒	渥美 宗英（工学部機械工学科） 荒井 正美（経済学部） 石川 知義（工学部機械工学科） 江村 寛（農学部） 遠藤 政市（工学部電気工学科） 鈴木 雅裕（法学部） 野呂 康宏（工学部電気系）	茨城

	氏名（在籍学部）	現住地
	村瀬 忠之（工学部建築系）	
S55 年卒	藤戸 麦郷（工学部金属工学科）	
S56 年卒	朝倉 俊一（工学部機械工学科） 柏崎 正喜（教育学部） 釜谷 靖（工学部土木科） 上條（熊倉）直子（文学部） 清水（仕入）真理子（工学部機械工学科） 杉山 弘一（工学部原子核学科） 杉山（中井）紀子（農学部） 高橋（千葉）かおる（文学部） 平間 義男（工学部機械工学科） 山下 秀則（教育学部） 山西 勇（工学部機械工学科）	富山  富山  群馬 群馬  栃木
S57 年卒	上野 秀人（工学部精密工学科） 上河（鐘江）範子（理学部化学科） 川畑 賢（工学部電子工学科） 清水 邦敏（工学部精密工学科） 中川 万規人（理学部物理学科） 水品 朱実 八重樫 誠司（工学部金属工学科） 米田 善治（経済学部）	宮城
S58 年卒	荒井 明（工学部化学科） 石田 伸彦（農学部） 下篠 憲（工学部化学科） 関本 英雄（工学部電気科） 高田 邦宏（文学部） 竹部 幸夫（法学部） 津田 邦男（工学部電気科） 本波 英樹（工学部建築科） 山本 直（工学部機械科）	
S59 年卒	加藤 浩（工学部応用物理科） 佐藤 和彦（法学部） 鈴木 道之（工学部金属学科） 高木 英雄（工学部応用物理科）	

	氏名（在籍学部）	現住地
	山口 浩人（工学部土木科）	埼玉
S60 年卒	加藤 浩（教育学部） 加藤 秀司（法学部） 木村 浩之（教育学部） 小林 郁雄（理学部地学科） 島本 泰輔（工学部金属科） 竹野 浩之（工学部機械科） 結城 英治（法学部）	
S61 年卒	喜多見 哲（法学部） 佐藤 淳（経済学部） 篠塚 重隆（工学部原子核工学科） 宮崎（野村）純子（工学部化学科）	
S62 年卒	猪股 正彦（経済学部） 沖 忠美（経済学部） 郷 孝志（経済学部）	
S63 年卒	阿部 正登（工学部原子核工学科） 鯨岡 秀紀（理学部地学科） 近藤 晃（工学部） 村主 正範（経済学部） 鈴木 康裕（法学部） 原田 潔（経済学部経営） 日出間 純（農学部農化） 牧田 晋（法学部）	
H1 年	小笠原 和徳（工学部原子核工学科） 外山 馨（医学部） 高橋 美晴（家政科） 塚田 崇（工学部建築科） 前田 一人（工学部原子核工学科） 湧田 憲一郎（工学部金属科）	
H2 年卒	小野 信行（工学部土木科） 風間 聡（工学部土木科） 梶 哲郎（工学部金属科） 櫻庭 政夫（工学部電気工学科） 中井 俊（工学部機械科）	千葉 宮城  宮城

	氏名（在籍学部）	現住地
	森田 清二（工学部建築）	
H3 年卒	堀米 美輝（宮城学院女子大） 三井 裕之（工学部金属） 山下 健司（法学部）	兵庫 大阪
H4 年卒	浅岡 由伸（工学部電気） 亀田 佑一（工学部金属） 仮屋 智由（工学部金属） 小岩 秀行（工学部機械） 小島 崇男（工学部金属） 神保 誠二（工学部土木） 西村 望（理学部化学） 藤森 吉則（工学部金属） 前田 昌彦（工学部機械） 松村 武（理学部物理） 四方 潤一（工学部電気）	富山 兵庫 東京 愛知  神奈川 千葉 長野 愛知 広島 福島
H5 年卒	青木 俊明（工学部原子核工学科） 小椋（石飛）真佐子（医学部） 大鰐 紀夫（法学部） 奥村 肇（理学部物理） 菅 謙三朗（工学部電気） 上坂 義仁（工学部機械） 駒井 道子（東北薬科大学） 佐々木（鈴木）広美（東北薬科大学） 高橋 勲（工学部金属） 高橋 紀子（文学部） 筒井 寛明（工学部機械） 野間 英樹（工学部機械） 深堀 協子（理学部地球物理） 牧田 誠司（工学部建築） 宮田 大輔（理学部天文） 向 展正（工学部化学） 目黒 秋子（文学部） 山田 みつき（理学部物理） 吉澤 拓也（工学部資源）	宮城  東京  東京 神奈川  神奈川 岩手 岐阜 神奈川 茨城 宮城 神奈川 広島 PA, USA 東京 千葉

	氏名（在籍学部）	現住地
H6 年卒	石川 晃（工学部電気） 河野 秀俊（工学部電気） 川原 靖雄（理学部数学） 君島 均（工学部機械） 佐々木 右介（工学部） 田中 英俊（工学部電気） 曳沼 賢（経済学部経営） 藤原 尚哉（理学部化学） 渡辺 健（工学部電気）	
H7 年卒	河辺 伸（経済学部） 木野 幸一（理学部物理） 高橋 知子（東北薬科大学） 竹田 史彦（工学部機械） 土屋 史紀（理学部地球物理） 永井 真貴子（医学部） 根本 美穂子（文学部） 山内 貴代（東北薬科大学）	
H8 年卒	阿相 和良（工学部化学） 足立 将孝（工学部化学） 石川（岡田）久子（工学部土木） 倉持 嘉徳（工学部原子核） 隅谷 宗太（理学部物理） 平田 直哉（工学部土木） 森 工（工学部電気） 八木 卓雄（文学部）	東京     新潟
H9 年卒	岡島 康雄（理学部物理） 榊原 健二（工学部物理情報）	
H10 年卒	石倉 綾（農学部生体分子） 鈴木 正彦（工学部電気） 中村 哲平（農学部生体分子） 細田 悦央（工学部機械知能）	
H11 年卒	安保 覚（法学部） 小野木 伯薫（工学部機械知能） 岩満（渡辺）幸子（工学部機械知能）	

	氏名（在籍学部）	現住地
H12 年卒	小野 寛明（工学部人間環境） 小林 大輔（工学部機械知能） 中村（坂口）智絵（工学部化学バイオ） 中村 健嗣（工学部機械知能）	宮城 愛知 東京 東京
H13 年卒	石橋 和彦（工学部機械知能） 辻 祐介（工学部電子応用情報）	神奈川 東京
H14 年卒	大原 祥平（理学部地学系） 北明 基史（理学部生物系） 田中 倫久（理学部地学系） 田中 亮（理学部物理系） 久永 茂生（工学部人間環境）	
H15 年卒	大学 紀二（工学部化学バイオ） 牧野 義和（理学部地学系）	三重 東京
H16 年卒	伊丹 太一（農学部） 工藤 武大（文学部） 宮澤 孝裕（工学部機械知能）	東京 秋田 愛知
H17 年卒	西 宏介（経済学部） 野澤 圭（工学部マテリアル開発） 藤田 健（文学部） 村田 浩道（工学部電子応用情報）	岡山 愛知 静岡 神奈川
H18 年卒	石塚 真喜（法学部） 堀井 泰之（理学部物理）	
H19 年卒	中矢 博樹（理学部物理系） 柴崎 晃（工学部人間環境） 杉下 裕樹（理学部物理系）	
H20 年卒	岡部 昭彦（工学部機械知能） 谷澤 朋有（理学部）	
H21 年卒	秋保 直弘（工学部機械知能） 斎藤 和輝（農学部） 丸島 直史（理学部地学系） 保田 一光（理学部地学系） 吉田 大樹（工学部機械知能）	
H22 年卒	出口 幸治（工学部機械知能）	東京

	氏名（在籍学部）	現住地
H23 年卒	鈴木 清暁（法学部） 武井 俊憲（理学部化学系） 内藤（東谷）綾華（理学部物理系） 天野 文子（	大阪  東京 埼玉
H24 年卒	安藤 樹（理学部物理系） 藤原（高橋）晶（工学部情報知能システム総合） 仁保 千秋（歯学部歯学科） 村上（福田）志帆（経済学部）	大阪 栃木 東京
H25 年卒	河田 泰明（工学部） 小林 東史（薬学部） 佐藤 由良（工学部機械知能） 千葉 貴司（理学部物理系）	埼玉 富山
H26 年卒	安藤 努（文学部） 伊藤 一成（理学部物理系） 緒方 健人（理学部化学系） 袖野 太士（工学部建築） 高橋 愛子（農学部） 船田 尚（理学部化学系） 三澤 公希（工学部建築） 平野 弘幸（教育学部）	愛知     中国
H27 年卒	石溪 惇哉（経済学部） 佐藤 嵩浩（工学部情報知能） 鈴木 智也（工学部情報知能） 鈴木 優子（理学部化学系） 永井 裕（法学部） 中島 稜介（理学部物理系） 宮崎 伸彦（理学部物理系） 湯澤 樹（理学部地学系） 蓬田 貴裕（工学部情報知能）	
H28 年卒	石井 智樹（工学部化学バイオ工） 稲永 久信（経済学部） 笠間 桂太（理学部物理系） 高道 範武（工学部機械知能・航空工） 田口 晃史（理学部化学系）	

	氏名（在籍学部）	現住地
	田光 巧弥(農学部) 時田 紘太郎（理学部生物系） 南波 和希（理学部物理系） 丹羽 祥太(農学部) 長谷川 源（理学部物理系） 松田 敬太郎（工学部化学バイオ工） 望月 潤（理学部生物系） 務台 光平（工学部化学バイオ工） 村上 日向（理学部生物系） 山井 尚也（工学部機械知能・航空工）	
H29 年卒	穴田 柚冬（工学部化学バイオ工） 割田 伊織（工学部機械知能・航空工） 上村 舞夏（文学部） 大嶽 晶子（文学部） 小池 祥央（文学部） 小関 美里（農学部） 嶋田 瑞生（経済学） 坂内 野乃	
H30 年卒	草原 直樹（工学部建築社会環境工） 久保田 健太（工学部材料科学総合） 志田 友香（工学部化学バイオ工） 鈴木 来夢（理学部地球科学系） 竹重 龍一（理学部生物系） 照沼 敬洋（理学部化学系） 中嶋 成佳（工学部材料科学総合） 林 荘也（理学部化学系） 八木 さくら（経済学部） 山下 毅（工学部材料科学総合） 渡邊 真澄（医学部保健学科） 渡部 楽（理学部化学系）	
H31 年卒	稲村 麟（工学部機械知能・航空工） 及川 絵梨（工学部機械知能・航空工） 栗谷 京生（工学部電気情報物理工） 小泉 慶次郎（理学部化学系） 小柴 黎斗（工学部電気情報物理工）	福岡 宮城 岩手 大阪 東京



	氏名（在籍学部）	現住地
	長谷川 就（工学部化学バイオ工） 原 一貴（工学部材料科学総合） 平山 悠暉（工学部機械知能・航空工） 務台 雄斗（工学部建築社会環境工） 森田 陽（工学部建築社会環境工） 山根 萌（教育学部） 吉田 圭（工学部電気情報物理工）	茨城 静岡 埼玉 神奈川 東京 東京 北海道
R1 年卒	青木 佑海（文学部） 木村 香穂（法学部） 串田 拓也（法学部） 新海 孝洋（理学部化学系） 竹井 しのぶ（理学部物理系） 古畑 和樹（工学部機械知能・航空工） 正橋 遼（工学部電気情報物理工） 松尾 優太郎（工学部材料科学総合工） 三竿 洋太郎（理学部化学系）	
R 2 年卒	浅野 颯太（工学部電気情報物理工） 池田 翔（工学部機械知能・航空工） 大沼 恭子（医学部保健学科） 島田 菜理紗（文学部） 白木 悠大（理学部化学系） 高野 祥徳（経済学部） 手塚 尚吾（工学部機械知能・航空工） 藤野 寛司（経済学部） 細井 拓真（経済学部）	
R3 年卒	榮治 智之（工学部機械知能・航空工） 岡田 拓歩（農学部） 小林 幹太（理学部化学系） 志関 弘平（理学部地球化学系） 橘 紀昌（理学部生物系） 保達 洋（法学部）	
R4 年卒	鈴木 昂（経済学部経営学科） 高橋 諒（医学部保健学科放射線技術科学専攻） 中田 和真（経済学部経営学科）	

	氏名（在籍学部）	現住地
	大坪 奏祐（工学部材料化学総合）	
R5 年卒	石橋 賢（農学部） 渡部 新（工学部電機情報物理工学科） 岩佐 帆夏（経済学部） 尾碕 明（法学部） 黒田 凜生（文学部）	

逝去会員		
	氏名（在籍学部）	
初代部長	加藤 愛雄	
初代副部長	柳原 正 八木 建三	
第二代部長	北村 仁	
特別会員	佐藤 昭男 手塚 敬裕 森 博	
S29 年卒	佐藤 林平（教育学部） 島田 郁夫（教育学部）	
S30 年卒	森 昌造（医学部） 吉田 裕（文学部） 岩波 勝（法学部） 石井 孝治（教育学部）	
S31 年卒	佐藤 陽二（井上）（教育学部） 穴戸 俊夫（工学部機械工学科） 本田 健治（工学部機械工学科）	
S32 年卒	結城 確（歯学部） 富田 恭造（工学部金属工学科）	
S33 年卒	菅原 俊成（農学部水産学科）	
S35 年卒	山田 文彌（工学部） 山室 正章（理学部物理学科）	
S36 年卒	松本 弘子（坂本）（理学部化学系）	

逝去会員	
	氏名（在籍学部）
S37 年卒	佐藤 周子（武田）（医学部医学科） 高頭 正行（経済学部） 佐藤 多助（教育学部） 三玉 立朗（経済学部）
S38 年卒	渡辺 高峯（工学部精密工学科）
S39 年卒	竹内 興二（工学部通信学科）
S41 年卒	植木 昌範（経済学部）
S44 年卒	五十嵐 博之（工学部金属材料工）
S46 年卒	川島 清（経済学部） 肥後 哲郎（工学部建築）
S47 年卒	四野宮 輝雄（経済学部）
S51 年卒	安達 忠衛（農学部）
H11 年卒	三浦 郁奈子（工学部機械知能）

## 広告協賛一覧

ブナの森 玉原高原 ペンション  
バン・デ・ルージュ

*Vin de Rouge*



交通：関越自動車道沼田ICより35分

玉原スキークパークの目の前です。(11月末より5月連休まで滑走可能)

クロスカントリースキー、山スキーにも最適。春はブナの新緑や玉原湿原のミズバショウ。夏はテニス、ハイキング、登山、サイクリングなど。ラベンダー園では夏山リフト運行中。ラフティング(激流下り)、カヌー、パラグライダーの体験教室あり。秋にはブナの森の紅葉の中でぶどう狩り、リンゴ狩り、きのこ狩り。

萩雪会の皆様のおいでをお待ちしております。(56年卒杉山)

〒378-0071 群馬県沼田市上発知町玉原高原 Tel 0278-23-9114

ジュピア  
蔵王温泉上の台スキー場  
JUPITER



蔵王温泉観光株式会社 蔵王スキー学校  
〒990-2301 山形県蔵王温泉18番地 tel (023)694-9417  
tel (023)694-9381

お食事は  
4Fチアリー  
3Fからから  
どうぞ。

コロッケ

メンチもよろしく!

**堀畜産有限会社**

蕨王店 蕨王温泉954-1 TEL. 694-9236



仙台市青葉区中央2-6-6 タペビル3F

【営業時間】

AM10:00~PM20:00

パーマのみ最終受付 PM19:00

【定休日】

ホームページでご確認ください

**TEL:022-265-6577**

**MENU** ※全メニュー顔剃り・シャンプー込  
※表示価格は全て税込

・カット	..... (大 人)	1,980 円
	..... (小中学生)	1,680 円
・白髪染め	.....	3,850 円
・ファッションカラー	.....	5,500 円~
・パーマ	.....	6,600 円~
・アイロンパーマ	.....	7,700 円
・縮毛矯正	.....	11,000 円
・ヘッドスパ (育毛、クール)	...	550 円
・ノーズクリーン	.....	550 円
・スキン	.....	550 円
・ライン	.....	550 円

HPはこちら



—広告協賛一覧—

ご協力ありがとうございました。

バン・デ・ルージュ

蔵王温泉観光(株)

メンズヘアージェントルマン

堀畜産（有）

## 奥付

スキー部冬季宿泊先：

東北大学萩雪ヒュッテ

山形県山形市蔵王温泉 820-1

TEL 023-694-9094

スキー部口座：

郵便振替口座 02200-4-19520

### 編集後記

SPUR68 号の編集・発行は、澤田真拓、尾白梓、岡野裕也、高田光太郎で務めさせていただきました。誤りのないようには努めましたが、誤字・脱字等を見つけたら、ご連絡お願い致します。

SPUR 第 68 号

発行年 令和 6 年

発行所 東北大学学友会スキー部

〒980-8577 仙台市青葉区片平 2 丁目 1-1

発行者 澤田真拓

編集者 尾白梓 岡野裕也 高田光太郎

印刷所 プリントコープ

東北大学片平校舎 学生生協内

スキー部ホームページアドレス：

<http://ski-tohoku.main.jp/>

右の QR コードからもアクセスできます。

最新の活動状況は、こちらでご覧になれます。



スキー部ブログアドレス：

<https://ameblo.jp/tohokuski/>

問い合わせ先

[ski.racing.tohoku@gmail.com](mailto:ski.racing.tohoku@gmail.com)